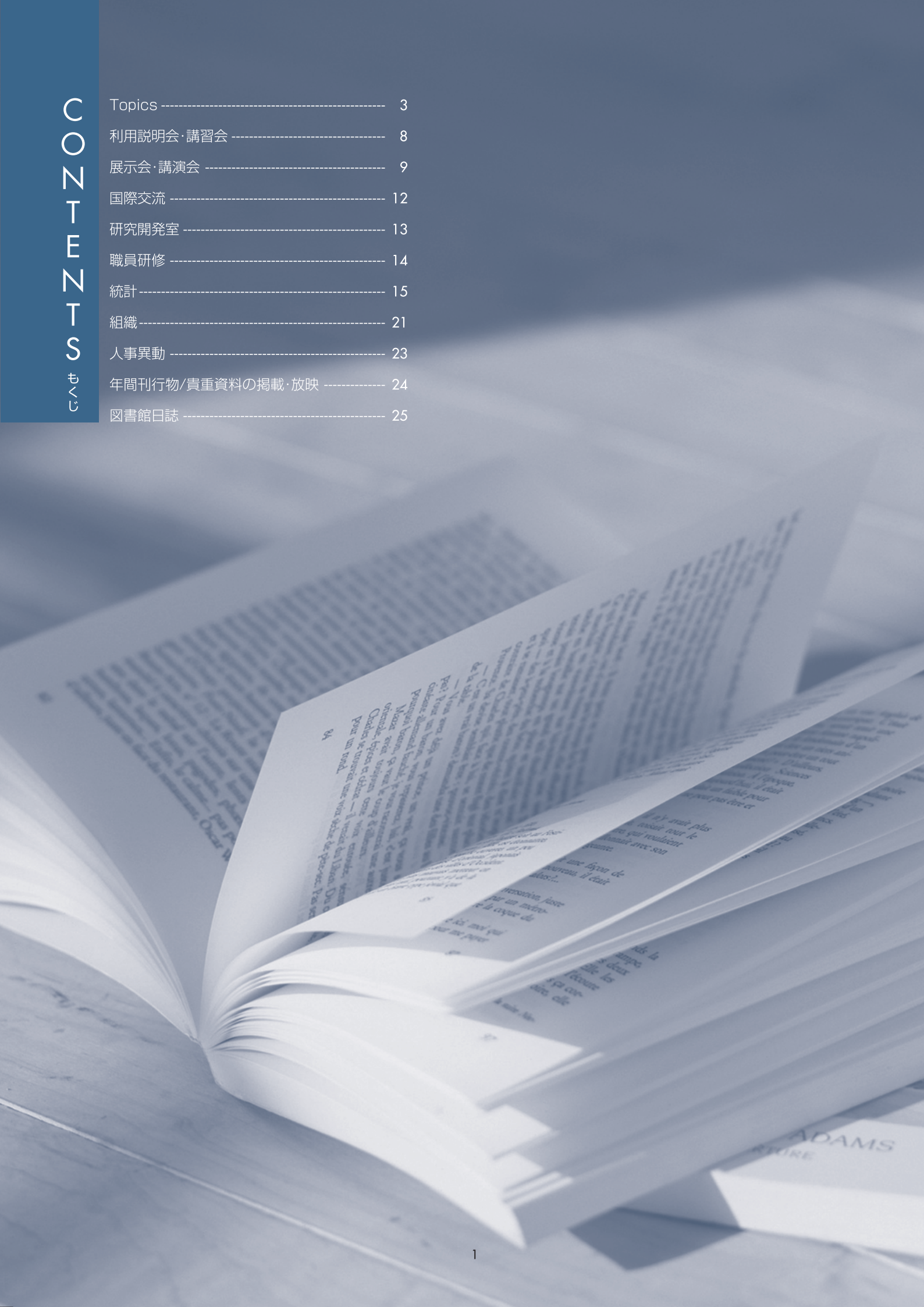


# KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2008/2009

九州大学附属図書館年報 2008/2009

Topics -----	3
利用説明会・講習会 -----	8
展示会・講演会 -----	9
国際交流 -----	12
研究開発室 -----	13
職員研修 -----	14
統計 -----	15
組織 -----	21
人事異動 -----	23
年間刊行物/貴重資料の掲載・放映 -----	24
図書館日誌 -----	25





附属図書館長  
丸野 俊一

## 「知的存在感」のある九州大学を支える 図書館の新しい役割

大学図書館を巡る状況は、電子情報システムの著しい発展に伴い、時空間を超えてのデータベースへの自由なアクセス、知的資産や知識の公開・普及、大学図書館のネットワーク化、情報基盤研究開発センター等との有機的連携・強化など学術情報基盤整備に関して新たな困難を抱えています。しかし、その困難を困難としてではなく大学図書館が大きく飛躍するチャンスであると前向きに捉え、これまで蓄積して来た理念やスキルをさらに発展させ、「知的存在感」のある九州大学の教育・研究を支える新たな機能や役割を構築していくことが極めて重要であり、その在り方が求められています。

九州大学附属図書館では、こうした精神のもとに、研究面での支援として、研究図書や外国雑誌、電子ジャーナル、大型資料等の整備・管理に加え、機関リポジトリの構築・公開に力を入れて来ました。質の高い一次情報の公開やメタデータの充実、機関リポジトリの質を保証し、「知的存在感」を根拠づける一つの指標になるだけでなく、究極的には学術情報の出版・流通の主導権を研究者側が持つことに繋がります。そのためには、大学等の研究機関の研究成果をデータベース化し、オープンアクセスをベースにしたこの情報発信事業が世界的広がりを示し、価値づけられることが不可欠です。スペイン高等科学研究院が作成する世界の機関リポジトリ・ランキング(H21.1)によると、九州大学の現在のランキングはリッチファイル数が高く評価され、国内1位、世界37位です。質量ともにさらなる充実を図っていきたく考えています。

教育面に関しては、毎年、新入生に対しては情報リテラシー教育支援に向けて「きゅうとOPAC」「きゅうとMyLibrary」の使い方などを全学共通科目の一つであるコアセミナーで開催、研究者や図書館職員に対してはオンデマンド講習会や利用頻度の高い特定データベースの技法(例:Scopus, RefWorks, SciFinder)説明会を開催し、参加者の増大を図っています。また九州大学の学生・院生・研究者であれば、自宅や出張先等から自由に電子ジャーナルを利用できる「どこでもきゅうと」のシステムも完備しました。さらに図書館の知的資源を有効利用しながら「課題探求能力の育成」を図る為に図書館を教育・学習の場として積極的に利用できるような学習環境作りにも力を注ぎ、個人レベルから数人のグループディスカッションができる学習ミーティングルーム、学生生活について気楽に語り合い情報共有や相互啓発を図るリフレッシュルームなどの整備も出ています。今年の4月には、図書館機能を備えた学習・交流スペース「嚶鳴天空広場Q-Commons」を伊都キャンパスの全学教育講義棟「センター2号館」の4階にオープンしましたが、何時も満室の賑わいを示しており、学生のニーズに応じて夜の利用をも21時までとしています。

「知的存在感」のある九州大学の教育・研究を支えていく為には、図書館の機能充実をさらに図るだけでなく、高度な専門的な知識や技能を兼ね備えた図書館職員を育成していくことも重要です。九州大学では、日本の図書館をリードするだけでなく世界レベルの九州大学図書館にしていくための人材育成を図るために、大学院ライブラリーサイエンス専攻(仮称)を平成23年度に開設しようと準備を進めています。

このような図書館の機能や役割や将来構想に対して、今後とも変わらぬ皆様の温かいご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

# Topics

## eリソースサービス室発足

20年4月1日、附属図書館に新たにeリソースサービス室が発足しました。

電子リソースを統括的に扱う組織の設置は、国立大学では全国で初めてであり、電子リソースの契約からサービスまでを一貫して行え

る体制が整いました。

国内第一の電子ジャーナルタイトル数を有する九州大学において、より充実した利用者サービスを展開しています。

## ユーザーサポートへの取り組みを強化

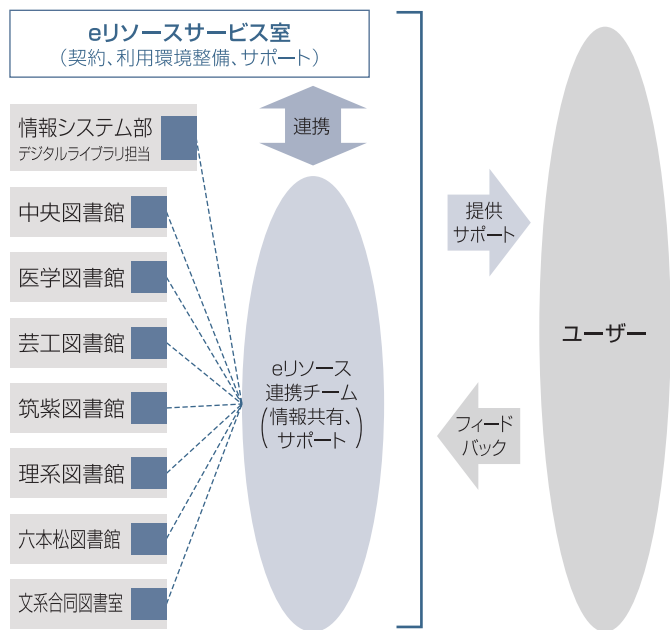
eリソースサービス室の設置を機に、情報システム部デジタルライブラリ担当および各館室の担当者で構成する「eリソース連携チーム」(以下連携チーム)の活動がスタートしました。

連携チーム内で電子リソースに関する情報を共有することで、利用者からの問い合わせへの迅速かつ均一的な対応や、リテラシー教育支援として新入生図書館ガイダンス・利用説明会を開催するなどのユーザーサポートにあたっています。

## 「どこでもきゅうと」の試行開始

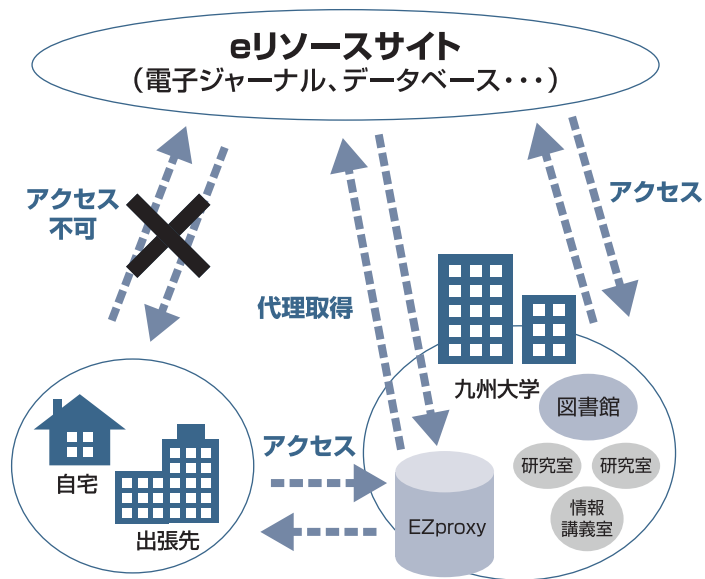
これまで利用者から要望の多かった学外からのeリソース利用サービス「どこでもきゅうと」の試行運用を20年9月に開始しました。

これは、情報統括本部との連携により、情報基盤研究開発センターに設置したEZproxyサーバを経由して、本学構成員の認証、eリソース提供元サイトへのアクセスを行うもので、本学構成員が、自宅・出張先等からも電子ジャーナルやデータベース等を利用できるようになりました。



### どこでもきゅうと

## 「どこでもきゅうと」の仕組み



## 利用者用パソコンの整備

全学の教育情報システム整備の一環として、iMacを中央図書館に60台、医学図書館に81台、伊都地区センター2号館の喫煙天空広場Q-commonsに13台導入しました。

これは、情報統括本部教育支援事業室との連携により行われたもので、MacOSとWindowsVistaのハイブリッド対応、多言語切り替え、学生IDによるログイン、RefWorks(文献管理ツール)のWord連携機能など、利用者に応じた使いやすい環境を実現しています。

また、教育情報システムが運用するサーバによるPCの集中管理によって、管理業務が飛躍的に効率化しました。



## 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)の取り組み

学内研究成果の一次情報を収集・蓄積・保存・公開することを目的とした「九州大学学術情報リポジトリ(以下QIR)」は20年4月に3年目を迎えました。

### ◆コンテンツの拡充

コンテンツの拡充を図るため、附属図書館商議委員会を通じ、コンテンツ登録状況を報告するとともに、一層の協力を依頼しました。更に教員・研究室への個別の訪問を行いました。

その結果、今年度は約3,600件のコンテンツを登録し、累積件数は11,000件に達しました。(21年3月現在)

### ◆システムの機能強化

研究者から寄せられた要望をもとに、メタデータ内の著者名をクリックすると、同一著者の登録アイテム一覧や研究者業績データベースへのリンクを表示することができる著者別のプロフィールページを21年3月に構築しました。更に、プロフィールページで一覧表示さ

れたデータをBibtexやCSV等の形式でエクスポートする機能を付加しました。この機能により研究者が論文を執筆する際、参考文献の作成等にQIRのデータを利活用できるようになりました。

また、九州大学学術情報リポジトリ専門委員会において「九州大学学術情報リポジトリ運営指針」正式版を策定しました。

### ◆「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」講習会開催

国立情報学研究所が実施する「CSI委託事業(領域2)」により、「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」プロジェクトを始動、20年11月と21年1月に講習会を開催しました。受講生は講義のほか、演習・発表を行い、次回に向けての宿題も課せられました。密度の濃い内容に取組む、意欲的な姿が印象的でした。また、受講者個人のスキルアップにとどまらず、受講後に各機関内で成果の共有・波及に努めてもらう等、知識や技術の継承・普及についてもひとつのモデルケースとなりました。

さらに20年12月には、特別編として、筑波大学の駒谷昇一教授を招聘し、システム開発、ソフトウェア開発、プロジェクト管理についての講義と演習を実施しました。こちらは図書館外からも多数の参加者がありました。

これらの講習会の様子は教材とともにweb上でも公開しています。  
<http://rd.lib.kyushu-u.ac.jp/projects/show/csipeople>



オリエンテーションでの円陣の様子

#### ①第1回講習会

【日 時】平成20年11月6日(木)～7日(金)  
【開催場所】九州大学附属図書館3階情報サロン  
【参加者数】27名(学外:20名、学内:7名)  
【講 師】井上創造准教授(附属図書館研究開発室)  
竹森正起氏(同 テクニカルスタッフ)  
小山健一郎氏(株式会社Fusic)  
【内 容】HTMLやPHP言語など、Webアプリケーション開発の基礎知識を初心者向けに講義・演習

#### ②講習会特別編

【日 時】平成20年12月8日(月)～9日(火)  
【開催場所】九州大学附属図書館新館4階会議室  
【参加者数】18名(学外:5名、学内:13名)  
【講 師】駒谷昇一教授(筑波大学)  
【内 容】情報システムの企画体験、プロジェクト管理の基礎を学び、システム開発の概要を知る。

#### ③第2回講習会

【日 時】平成21年1月13日(火)～14日(水)  
【開催場所】九州大学情報基盤研究開発センター2階情報サロン  
【参加者数】22名(学外:17名、学内5名)  
【講 師】第1回と同じ  
【内 容】第1回目の課題を発表。さらにCakePHPを使用した、Webアプリケーションの作成の実際を講義・演習

### ◆リポジトリランキングで国内1位

スペイン高等科学研究院が作成する世界の機関リポジトリ・ランキング(H21.1)において、QIRは、そのリッチファイル数が高く評価され、国内1位、世界37位に位置づけられました。これは、これまで実施し

てきた一次情報の公開に重きを置いた収集活動、また詳細なメタデータの充実、更には学内外で様々な協力を得られた成果です。

## 六本松地区の移転を実施

九州大学の伊都キャンパス統合移転第2ステージである六本松キャンパス等の移転\*1に伴い、図書館も理系図書館2-3階を増築\*2し、六本松図書館及び数理学研究院の移転を行うことになりました。21年4月の伊都キャンパスでの開講に向け、20年度は計画、準備から実

施にいたるまで全学体制で取り組みました。

\*1 全学教育、比較社会文化研究院・学府、言語文化研究院、数理学研究院・学府・理学部数学科が移転対象

\*2 3階部分は当面数理学研究棟として運用

### ◆理系図書館の増築遅延

建築基準法改正の影響により福岡市の建築確認が予定より大幅に遅れ、20年12月完成予定の理系図書館の増築工事が半年遅延することとなりました。この不測の事態にあたり、学内の関係部署と調整を行い、遅延による影響を最小限にとどめるため下記の通り対応を行うこととなりました。

◎資料の配架については、六本松図書館の学生用図書を理系図書館に移転・配架する。理系図書館に配架できない資料については、六本松地区に残し、配送システムを強化することにより迅速な提供を図る。また、理系図書館に移転する資料および六本松地区に残る資料が、両地区において同等の条件で利用できるようにする。

◎座席数については、大学全体での支援体制を得て、不足分の補充を図る。

◎六本松地区に残る数理学研究院・学府の教員・大学院生へのサービス提供機能は六本松地区に残す。また、他地区の教職員・学生の六本松地区への来館利用にも対応する。

◎六本松図書館は組織上閉館し、理系図書館の六本松分室としてサービスを提供する。

◎移転期間中の資料の貸出冊数・期間については、冊数の増加・期間延長など暫定的な対応を行う。

### ◆六本松図書館の移転

六本松図書館及び数理学研究院等の移転に向けて、移転先の施設設備の整備、資料の移転及びデータ移行、組織の再編、サービスの移行など、新図書館推進室の下に設けた各実務チームを中心に、以下のとおり準備・実施を進めました。

#### ■理系図書館自動書庫2期工事の実施(H20.8-10)

資料の増加に備え増設を行い、自動書庫の収容冊数は従来の2倍の80万冊となった。

#### ■理系図書館増築工事開始(H20.12)

開館しながらの2-3階の増築工事を開始した。21年7月竣工、10月にリニューアルオープンの予定である。

#### ■資料の前倒し移転の実施(H19.12-20.11)

本番移転をスムーズかつ短期間に行うため、5回の前倒し移転を実施。計約83000冊の移転及びデータ整備を行った。

#### ■資料の本番移転(H21.2-3)

資料及び物品の本番移転を行い、約20万冊の移転及びデータ整備を行った。あわせて、全国総合目録の所在情報の整備も行った。

#### ■組織の再編

六本松図書館の移転に伴い、理系図書館の事務体制、中央図書館の管理的業務を一元的に行うための体制の整備を行った。

#### ■「理系図書館」から「伊都図書館」へ

理系図書館において全学教育及び文系の学生・教職員へのサービス提供を担うことになるため、21年4月より「伊都図書館」へと名称を変更することになり、規則等の改定、施設サインの取り換え、ウェブサイト等の更新などを行った。

#### ■設備の検討・導入

21年10月の伊都図書館リニューアルオープンに向けて、設備の検討・調達の準備を順次進めた。

### ◆講義棟に図書館機能を備えた学習・交流スペースを整備

伊都キャンパスセンター地区の全学教育講義棟「センター2号館」の4階に、図書館機能を備えた学習・交流スペース「嚶鳴天空広場Q-Commons」が21年4月オープンしました。これは、全学教育の学生が講義室に近い場所で資料を活用しながら学習できるスペースがぜひ必要との教員の強い要望を受け、急ぎよ大学として整備が決まったもので、全学教育施設として、高等教育開発推進センターと学務部、附属図書館の三者の連携のもと、コンセプトの決定から設備の検討・導入、サービスの準備を整えてきました。授業に密接に関連した資料や、自由に動かすことのできるテーブルなどが配置され、学習や交流への活用が大いに期待されます。



## ◆六本松図書館が87年の歴史に幕

六本松キャンパス（福岡市中央区六本松）の移転に伴い、六本松図書館が、21年2月18日をもって閉館しました。

六本松図書館は、大正11年に旧制福岡高等学校の図書室として開室して以来、学制改革により九州大学教養部分館となり、さらに新館建築、教養部改組を経て現在の六本松分館へと変遷しながら、87年間にわたり九大生の学びを支えて続けてきました。

閉館にあたり、20年10月より閉館までの間、展示会「ありがとう六本松図書館」を開催し、開館当時から現在に至るまでの写真や歴代の蔵書印、所蔵コレクション等の展示を行いました。開催期間中には卒業生や教職員のOBの方々も訪れ、メッセージコーナーには、図書館との別れを惜しむ声や感謝の声が数多く寄せられました。

また、21年2月には、六本松図書館のたどってきた足跡と役割を記録し後世へと伝えるため、展示会の内容とメッセージをまとめた記念誌『ありがとう六本松図書館』を刊行し、学内外の関係機関・関係者に配布しました。

最終日には閉館式を執り行い、現役の教職員、学生をはじめ歴代の分館長・部局長・職員OBなど、多くの関係者・利用者が、長年親しまれてきた図書館との別れを惜しまました。閉館の時刻には、最後の利用者を拍手で送り出し、87年の歴史に幕を下ろしました。



六本松図書館 (S55-H21)



旧教養部分館 閲覧室 (S54)

## 資料保存に関する取り組みを本格化

知の財産である蔵書を将来にわたって利用できるよう、20年度から室員に人文科学研究院の岡崎准教授と附属図書館元職員の栗山氏を迎え、研究開発室に新たに「資料保存に関する研究」部門を設置しました。継続的な蔵書構築に加え、蔵書の適切な保存への具体的な取り組みを開始したことは、新中央図書館建設などの今後の図書館の将来計画において大きな意味を持ちます。

20年度は、資料保存に関する専門的な講演会を2回、実習を1回実施するとともに、14年度～16年度に行われていた資料保存研修

会において編集されながら未完成に終わっていた「資料保存ガイドライン」の完成に取り組みました。まとめられた「ガイドライン」の初版は、20年12月17日の資料保存セミナーの講演の中で栗山室員が紹介しました。資料保存の基本的な考え方から具体的な対処方法までを網羅した内容に、「ガイドライン」を手にした参加者からは、「非常に参考になる」という声が多く聞かれました。

※講演会についてはP.11をご覧ください。

## 唐津市近代図書館との相互貸借を開始

附属図書館では、10月1日付けで、唐津市近代図書館と図書との相互貸借を開始しました。これは、19年2月に九州大学と佐賀県唐津市との間で締結された協力協定に基づいて、唐津市近代図書館から図書の相互貸借を行いたいとの申し入れがあり、実現したものです。

地域の公共図書館との相互貸借については、すでに福岡県図書館協会、福岡市総合図書館との間で実施していますが、今回は県外の公共図書館として初めて相互貸借を開始することになりました。

## 医学図書館ブラウジングルーム リニューアル

医学図書館では、ブラウジングルームの大規模なリニューアルを行いました。ソファやベンチ、テーブルを全面的に入れ替え、従来よりも形の柔らかなチェアやテーブルを導入するとともに、採光などの環境面に配慮し、より学生が立ち寄りやすい空間となりました。新聞や軽く読める雑誌を配架し、従来どおり飲食も可能となっています。勉強の合間に気持ちをリフレッシュする場として、あるいは学生たちが集まって談笑する憩いの場として、ますます人気が高まりそうです。



## 文系合同図書室 窓口を統合

文系合同図書室では20年10月1日より、主に経済学部、教育学部所属者の担当窓口であった第3窓口の業務を法学部所属者の担当窓口である第1窓口へ統合し、第3窓口を閉鎖しました。

これは、文系合同図書室に3カ所あった窓口を2カ所にする事で、業務の効率化を図り、閲覧サービスの向上を目指すことを目的としたものです。

## 福岡市産学連携交流センターに「理系図書館分室サービスコーナー」を設置

平成20年4月、福岡市が伊都キャンパス近くに開設した産学連携交流センター2階の交流コーナーに「理系図書館分室サービスコーナー」を設置しました。当センターは、大学等の知の集積とポテンシャルを活用して、国内外の研究者、企業等の連携交流を促進すること

により、地域経済の発展と九州大学学術研究都市づくりに資するため開設された施設です。ここでは、専用のパソコンが2台設置され、当センターにオフィスを置く企業等が、九州大学の学術情報資源を利用することができます。

## 中学生の職場体験学習

実際に職場で仕事を体験することを通して将来の職業選択に役立てることを目的とした、中学生の職場体験学習を受け入れました。

### [芸術工学図書館]

【学 校】福岡市立老司中学校2年生 3名  
【期 間】平成20年9月17日(水)～19日(金)

図書の装備や目録作業、ILL業務等におけるパソコン操作や図書の貸出、返却等のカウンター業務におけるバーコード等の操作及び返却資料配架、書架整理、蔵書点検を体験しました。生徒にとっては初めてのことばかりであり、各担当者の説明を真剣に聞いて内容を理解し、仕事を覚えようとする意欲が伝わってきました。

体験学習終了後、生徒から感想文が届き、次のような感想が述べられていました。

- ①貸出、返却の際のスキャナを使った資料IDの読み取り操作が楽しかった。
- ②蔵書点検が大変であった。
- ③貴重図書に感動した。

### [理系図書館]

【学 校】福岡市立玄洋中学校2年生 3名  
【期 間】平成20年9月25日(木)～26日(金)

カウンターでの貸出・返却、図書の装備、返却図書の配架などの業務に緊張しつつも真剣に取り組んでいました。不安と期待の一日目、ちょっと元気な二日目、働くことの楽しさを実感したようです。一生懸命働く姿はとても印象的でした。



利用者が学習・研究を行う上で必要な文献や情報を、効率よく探し出し活用できるよう、様々な講習会を開催しています。20年度は、4月に発足したeリソースサービス室を中心に、eリソース連携チームとの協力体制により、全学的な取り組みが一層進み、より多くの利用者

の参加がありました。今後もこの体制のもと、利用者のニーズに合わせた講習会を企画・実施し、学習・教育支援、研究支援を進めていきます。

## ●利用説明会

図書館側で日程、内容を設定し、利用者に呼びかけて行うもので、ベンダーによる、特定データベースの詳細な説明を行う方法を多く取り入れています。20年度は、利用頻度の高いScopus、RefWorks、SciFinder Scholarなどの利用説明会を全キャンパスで開催し、実施回数・参加人数ともに過去最大となりました。

内容	回数	人数
Scopus	10	190
JK/日国/歴史地名	6	45
RefWorks(前期)	10	180
CiNii	1	26
JDream II	5	54
RefWorks (後期)	11	152
SciFinder Scholar	6	78
日経NEEDS	2	38
ユリスデータベース	1	5
医中誌Web	4	43
計	56	811

## ●オンデマンド講習会

利用者からの要望に応じて、日程、内容等を設定し、図書館職員が講師となって行うもので、15年度から実施しています。ほとんどが授業の一環として行われており、同じゼミや授業科目から毎年依頼を受けることも多く、授業と連携した学習・教育支援として重要な活動になっています。教員からは、内容についての期待や要望が高まってきており、体制の強化や担当職員の専門性向上を図っていく必要があります。

対象	回数	人数
文学部	2	51
経済学部・学府	5	107
理学部	1	10
医学部・学府	6	325
農学部	2	29
システム情報科学府	1	16
記録資料館	1	5
健康科学センター	1	7
学内その他	2	52
学外者	1	11
計	22	613

## ●新入生図書館ガイダンス

全学教育科目の一つであるコアセミナーの講義時間などを使って、新入生に図書館活用法を案内するもので、18年度から実施しています。内容は「きゅうとOPAC」、「きゅうとMyLibrary」の使い方と「館内ツアー」が中心です。20年度は、広報活動の組織化や実施体制の強化により、昨年度に比べ約2倍増の受講者数となりました。

対象	回数	人数
文学部	10	250
教育学部	1	50
法学部	2	44
経済学部	5	101
理学部	3	110
医学部	2	113
工学部	1	152
農学部	5	250
計	29	1,070

## 平成20(2008)年度実績

### 種別

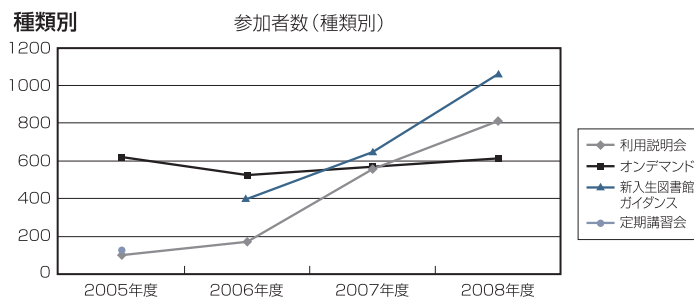
会場	利用説明会		オンデマンド講習会		新入生図書館ガイダンス		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
箱崎地区	13	241	8	142	21	669	42	1,052
病院地区	10	149	7	336	2	113	19	598
大橋地区	5	58	0	0	0	0	5	58
筑紫地区	8	90	1	7	0	0	9	97
六本松地区	6	33	2	52	0	0	8	85
伊都地区	9	162	1	16	1	152	11	330
文系地区	5	78	3	60	5	136	13	274
計	56	811	22	613	29	1,070	107	2,494

### 受講者別

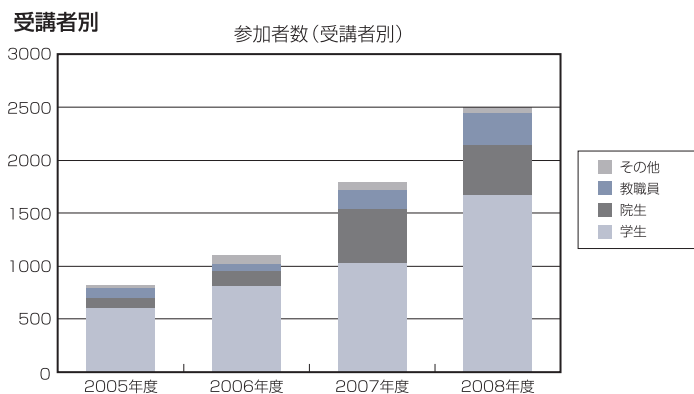
会場	教職員	院生	学生	学内その他	学外者	計
箱崎地区	96	138	812	6	0	1,052
病院地区	77	75	424	11	11	591
大橋地区	15	26	15	2	0	58
筑紫地区	34	57	1	5	0	97
六本松地区	13	10	61	1	0	85
伊都地区	48	98	182	2	0	330
文系地区	31	53	188	2	0	274
計	314	457	1,683	29	11	2,494

### 参加者数の推移

#### 種別



#### 受講者別



## 開学記念展示 第49回附属図書館貴重文物展示 「中山森彦と仙厓展」

【期 間】平成20年5月8日(木)～15日(木)  
 【会 場】九州大学附属図書館 2階特設展示会場  
 【主 催】九州大学附属図書館  
 【来場者】1,012名



### 関連講演会「仙厓芸術のカラクリ～仕掛けられた無法～」

【日 時】平成20年5月11日(日) 14:00～15:30  
 【会 場】九州大学附属図書館 4階視聴覚ホール  
 【講演者】中山喜一郎氏(福岡市博物館学芸員)  
 【来場者】178名

九州大学医学部の教授であった中山森彦博士が蒐集し、文学部に寄贈された仙厓和尚の書画等30点を中心にした展覧会を開催しました。仙厓は江戸時代後期の禅僧で、ユーモラスな中に奥深い意味が込められた画には高い人気がありますが、今回展示した作品がまとまって公開される機会がほとんどなかったことに加えて、企画を担当していただいた後小路雅弘教授(人文科学研究院)の美術展としての演出が評判となり、これまでの記録を大幅に超える1,012名もの方にご来場いただきました。そのうち約7割は学外からの来場者でした。

また、11日には仙厓芸術研究の第一人者である福岡市博物館学芸員の中山喜一郎氏による講演会を開催しましたが、こちらも会場が満員になるほどの盛況となりました。



## 「旧制福岡高等学校展」

【期 間】平成20年8月20日(水)～22日(金)  
 【会 場】九州大学附属図書館 2階特設展示会場  
 【主 催】九州大学文書館・九州大学附属図書館  
 【来場者】140名

大正11年に現在の六本松キャンパスに発足し、学制改革に伴って昭和25年に廃校となった旧制福岡高等学校の歩みを振り返るため、今も大学文書館で大切に保管されている当時の貴重な写真や事務文書等を紹介する展示会を開催しました。これは附属図書館で開催した貴重文物講習会「旧制福岡高等学校関係資料について」に合わせて企画されたものですが、短期間であったにもかかわらず、旧制福岡高等学校の卒業生の方をはじめ、学外からも多くの方にご来場いただきました。

### 旧制福岡高等学校展




**期間** 平成20年8月20日(水)～8月22日(金)  
午前10時から午後5時まで

**会場** 九州大学中央図書館(箱崎キャンパス) 2階自由閲覧室 入場 無料

**内容** 旧制福岡高等学校は、大正11年に発足しましたが、学制改革に伴って昭和25年3月に廃校となり、新制九州大学に引き継がれました。今回の展示は、九州大学文書館が所蔵する当時の貴重な写真や公文書などを通して、旧制福岡高等学校の歩みを振り返るものです。

■ 主催 九州大学文書館・九州大学附属図書館  
 ■ 問い合わせ先 九州大学附属図書館利用支援サービス企画係 Tel: 092-642-2533

## 常設展示

中央図書館2階常設展示コーナーで、平成20年度は、以下の展示を行いました。

### ●国連難民写真パネル展 (H20.6.20~7.3)

大学院人間環境学府の主催により、国連が定めた6月20日「世界難民の日」に合わせて、日本UNHCR協会提供の写真パネルを展示しました。

### ●旧制福岡高等学校卒業者の本 (H20.9.8~9.30)

「旧制福岡高等学校展」に合わせて、附属図書館が所蔵する福岡高等学校卒業者の著書を紹介しました。

### ●源氏物語誕生千年記念展示 (第1回 H20.7.10~8.10 第2回 H20.11.4~12.26)

平成20年が源氏物語が誕生して千年目に当たることから、瀬戸内寂聴氏や俵万智氏らの文献も引用しながら、物語や登場人物について紹介しました。

### ●江戸期日本の天文学 (H21.1.6-2.28)

平成21年が「世界天文年」に当たることから、学生用図書や桑木文庫の中の天文学関係資料を展示しました。

### ●支子(くちなし)文庫の世界 (H21.3.2-4.30)

九州産業大学の田村隆講師のご協力により、新たにデータベース化した零葉集をはじめとする支子文庫の資料等を展示しました。



支子文庫零葉集 平治物語

## 学術情報セミナー「学術コンテンツのトレンドと高まるマネジメントニーズ」

【日 時】平成20年6月30日(月) 13:00~17:00

【会 場】九州大学附属図書館 4階視聴覚ホール

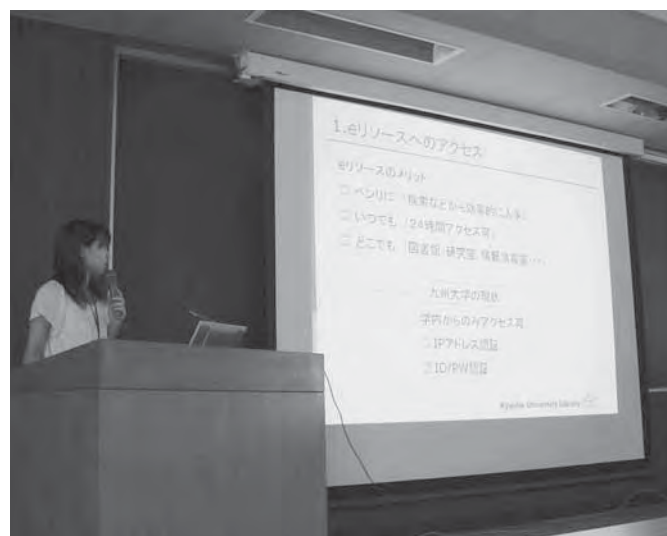
【主 催】九州大学附属図書館

【後 援】九州地区大学図書館協議会・株式会社サンメディア

【参加者】59名

電子コンテンツの効果的活用に向けてのマネジメント方法やツールについての講演、また、電子ジャーナルから電子ブックやアーカイブコレクションの充実など、最近の学術電子コンテンツのトレンドについて、各出版社からの紹介が行われました。九州大学附属図書館からはeリソースサービス運用体制の強化を目的とした組織再編について、また次世代OPAC・リモートアクセスという附属図書館が取り組んでいる新しいサービスについての事例報告を行いました。

九州地区の大学図書館関係者、テレビ会議システムを通じた大阪大学からの参加者もあり、60名近くが最新の事例に聞き入りました。



### 【プログラム】

12:30 受付開始、開場

13:00 開会 主催者挨拶

13:10 講演「世界の学術研究環境の変化と研究者の新しいニーズ」  
/ ProQuest日本支社 小島 陽介氏

14:10 IOPP (英国物理学会)  
「IOPPの提供する最新の電子ジャーナルのサービスについて」

14:30 コーヒーブレイク

14:40 NPGネイチャー・アジア・パシフィック  
「nature.comでのユーザー・エクスペリエンスの向上を目指して」

15:00 事例報告  
「eリソースサービスの発展に向けてー組織再編・次世代OPAC・リモートアクセスー」  
/ 九州大学附属図書館 久原 明美、工藤 絵理子、轟 朋子

15:40 コーヒーブレイク

15:50 Thieme

「Science of Synthesis -合成化学分野における包括的オンライン版リソースならびに電子ブック、ジャーナルご案内(コンソーシアム提案)」  
RSC (英国王立化学会)

「コンソーシアム提供商品ならびに RSC Prospect オンライン新機能ご紹介」

16:10 ワイリー・ジャパン

「Wiley InterScience と Blackwell Synergy の統合及び新プロダクトについて」

16:30 サンメディア e-Port UpDate

16:50 質疑応答、閉会の挨拶

17:00 閉会

## 資料保存講演会「書籍の修理と保存の技術」

【日 時】平成20年5月19日(月) 13:30～15:30  
 【場 所】九州大学附属図書館 4階視聴覚ホール  
 【講演者】岡本幸治氏(製本家・書籍修復家)  
 【主 催】九州大学附属図書館  
 【参加者】105名

本講演会では、講師として書籍修復家の岡本幸治氏を招き、劣化資料の取り扱いや修復の手法についての基本的な説明、次いで同氏が関わった一橋大学メンガー文庫を主とした事例紹介が行われました。

ロビーでは、同氏が作成した製本構造見本と文化財保存修復学会で発表したポスター3点のほか、九州大学附属図書館から資料保存のための中性紙封筒や書見台等の見本を展示しました。講演後の同氏による説明の際には、ポスターの内容や資料の保存と修理の手法について、参加者から熱心な質問が多数ありました。

九州地区では聞く機会の少ない資料保存をテーマとした講演会であったため、九州・沖縄地区の大学図書館及び福岡県下の公共図書館の職員、また大学教員や学生など100名を超える参加があり、この問題に対する関心の高さが伺えました。



## 資料保存セミナー:学術資料を後世に残すために

【日 時】平成20年12月17日(水) 13:00～17:15  
 12月18日(木) 9:30～12:00  
 【場 所】九州大学附属図書館 4階視聴覚ホール・会議室  
 【主 催】九州地区国立大学図書館協会  
 【後 援】九州地区大学図書館協議会  
 【参加者】17日:80名 18日:20名

九州大学附属図書館において、平成20年度国立大学図書館協会地区協会助成事業による企画事業として「学術資料を後世に残すために」と題した資料保存セミナーを開催しました。

17日の講演会では、資料保存研究者で元国立国会図書館副館長の安江明夫氏と書籍修復家の岡本幸治氏による講演、九州大学附属図書館研究開発室員の栗山平氏による事例報告が行われました。「保存マネジメントの考え方」と題した安江氏の講演では、フィレンツェ水害に始まる資料保存の歴史から最新の海外の動向までが紹介されました。岡本氏の講演「予防のための修理と保存」では、スライドを交えて同氏が手がけた書籍修復の実例の説明がありました。また、栗山



氏の報告では、九州大学附属図書館が数年間にわたる資料保存研修会において作成した「資料保存ガイドライン」が紹介され、強い関心が寄せられました。九州・沖縄地区の大学図書館及び福岡県下の公共図書館から集まった図書館職員の他、教員や大学院生など、80名の受講者が具体的な事例に熱心に聞き入っていました。

18日の実習では、岡本氏の指導のもと、破れたページの補修や無線とし修理などを行いました。17大学20名の参加者は講師の説明つき実演をメモを取りながら見学し、実際に作業を行うことでより理解を深めていました。

## 【プログラム】

## ◆資料保存セミナー1(講演・事例報告)

12:30- 受付開始  
 13:00-13:10 開会挨拶  
 13:10-15:00 講演1 安江明夫氏(資料保存研究者、元国立国会図書館副館長)  
 「保存マネジメントの考え方」  
 15:00-15:15 休憩  
 15:15-16:00 事例報告 栗山平氏(九州大学附属図書館研究開発室特別研究員)  
 「大学図書館と資料保存 -九州大学における取り組み-」  
 16:00-17:00 講演2 岡本幸治氏(製本家・書籍修復家)  
 「予防のための修理と保存」  
 17:00-17:15 全体質疑

## ◆資料保存セミナー2(実習)

9:00- 受付開始  
 9:30-12:00 実習  
 ◎ページ修理 ◎保護ジャケット  
 ◎封筒フォルダー ◎無線とし修理

## 図書館間交流協定

### ◆ソウル大学校中央図書館へ職員を派遣

海外研修としてソウル大学校中央図書館へ職員を2ヶ月間派遣しました。

平成17年からこれまでソウル大学校から客員図書館員を2名受け入れてきましたが、本学附属図書館から職員を長期派遣するのは今回が初めてとなります。

研修では、韓国語授業の受講に加えて、図書館業務に携わりながら、ソウル大学校中央図書館および分館の電子的サービスなど先進的取組みについて学びました。また、韓国国立大学図書館セミナーなどで九州大学附属図書館についてプレゼンテーションを行う機会を得て、積極的に現地の司書と意見交換を行うことができました。さらに、ソウル大学校の図書館だけでなく、国立中央図書館や高麗大学など他機関の図書館も訪問し、ICタグなどの最新設備やインフォメーション・commonsの整備状況を見学しました。

【研修者】兵藤 健志(附属図書館eリソースサービス室)

【研修期間】平成21年1月8日～3月6日

【研修先】ソウル大学校中央図書館

【研修内容】韓国語授業への参加

- ・ソウル大学校の図書業務全般に関する情報交換および実務体験(図書館システム、ホームページ、電子図書館、eリソース、受入目録、寄贈交換、ILL、研究支援、閲覧、書庫、特殊資料、各分館)
- ・先進的な図書館の訪問(国立中央図書館、国立デジタル図書館、国立国会図書館、議政府市図書館、成均館大学校図書館、延世大学校図書館、高麗大学校図書館)



### ◆交流協定図書館との往来

#### —往訪—

・ソウル大学校図書館

【日程】平成21年2月22日～25日

【訪問者】井上 創造(附属図書館研究開発室准教授)

南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員)

牧瀬ゆかり(附属図書館eリソースサービス室)

詫間沙由香(附属図書館コンテンツ整備課)

【目的】RFID応用システム及びデータ解析に係る調査のため

#### —来訪—

・ソウル大学校図書館一行(4名)

平成20年11月21日 総長表敬、中央図書館・理系図書館の視察、職員研修プログラムに関する覚書締結(更新)

### ◆交流協定図書館との資料交換(平成20年度)

九州大学→ソウル大学校 九州大学出版会図書23冊を寄贈

九州大学→慶北大学校 九州大学発行の紀要30冊を寄贈

ソウル大学校→九州大学 ソウル大学校出版会図書49冊を受贈

ソウル大学校奎章閣図書24冊を受贈

## 海外との往来

#### —往訪—

【訪問者】星子 奈美(附属図書館コンテンツ整備課)

【日程】平成20年9月21日～27日

【訪問先】オーストラリア

National Library of Australia, Australian National University, Queensland University of Technology

【目的】大学訪問調査、Open Access and Research Conference 出席

【訪問者】片岡 真(情報システム部情報基盤グループ(デジタルライブラリ担当))

【日程】平成20年11月16日～22日

【訪問先】フロリダ州マイアミ(アメリカ)

【目的】第1回エルゼビア開発パートナーシンポジウムへの参加

【訪問者】片岡 真(情報システム部情報基盤グループ(デジタルライブラリ担当))

香川 朋子(附属図書館eリソースサービス室)

【日程】平成21年2月16日～22日

【訪問先】アメリカ、カナダ

University of Rochester,

Queen's University, University of Toronto

【目的】海外におけるERMシステム導入館に対する調査

#### —来訪—

・アメリカ ハーバード大学燕京図書館日本部門

Librarian 山田Mcvey久仁子氏

平成20年6月30日 中央図書館見学、職員との意見交換会

20年度は、下記の事項についての研究開発活動を行いました。主な取り組みについて紹介します。

## 新たに資料保存に関する事項を設置

現在の図書館環境及び今後の新中央図書館計画における喫緊の課題である資料保存について、研究開発室に「資料保存に関する調査研究」事項を新たに設け、その取り組みを本格的に開始しました。今年度は、資料保存に関する講演会を2回、実習を1回開催したほか、長年の懸案であった「資料保存ガイドライン」の初版を公表しました。

## 貴重文物講習会を継続して実施

「図書館職員の専門性の育成に関する調査研究」の事項において、19年度より開始した「貴重文物講習会」を継続して実施しました。20年度は、図書館資料にとどまらず、芸術工学図書館に展示されている椅子や、学内のアートなど、九大の貴重文物を広く取り上げました。

## 訪問研究員の受け入れ

20年11月、研究開発室訪問研究員として、大韓民国京畿道果川市情報科学図書館の奉仕チーム長である金銀子氏を受け入れました(21年10月末まで)。

「公共図書館のNDLの利用行動データマイニングによる図書館のスペース構成に関する研究」を研究テーマに、近隣の図書館の調査、利用者の行動調査およびデータの収集・分析等を行っています。21年1月には、完成した博士論文をもとに、図書館職員を対象とした講演会を行いました。

## 平成20年度研究開発室研究開発事項

### 総括

研究開発の総括	有川節夫(～20.9.30)丸野俊一(20.10.1～) (附属図書館長、理事・副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括するとともに、ライブラリサイエンスに関する教育システムの調査・研究を行う。
---------	---	---

### I 将来計画に関する分野

統合移転後の新図書館計画に関する調査研究	平井康之(芸術工学研究院准教授)	伊都新キャンパスに計画する新図書館について、建築及び設備の面から、理想的な大学図書館を建設するための調査研究を行う。
海外の大学図書館に関する調査研究	松原孝俊(韓国研究センター教授)	海外、特にアジア諸国の大学図書館との図書館間交流の推進についての調査研究を行う。
図書館職員の専門性育成に関する調査研究	竹村則行(人文科学研究院教授)	九州大学が所蔵するコレクションをはじめとした資料群について、その内容や価値、九大に所蔵するに至った経緯等についての調査研究をおこなうとともに、その過程のなかでサブジェクトライブラリアンとしての職員の専門性育成を図っていく。

### II 電子図書館システムに関する分野

学術情報リポジトリに関する研究開発	荒木啓二郎(附属図書館副館長～20.9.30、システム情報科学研究院教授) 廣川佐干男(情報基盤研究開発センター教授) 竹田正幸(システム情報科学研究院教授) 池田大輔(システム情報科学研究院准教授) 井上創造(附属図書館研究開発室准教授)	学術情報リポジトリの構築に関する研究を行う。例えば、他のシステムとの連携や、複数のシステム間の統合検索、各種検索システムを研究開発する。
SNSを活用した教育・学生のコミュニティ形成に関する研究	池田大輔(システム情報科学研究院准教授) 井上創造(附属図書館研究開発室准教授)	学生や教員のコミュニティを中心とした活発かつ効果的な教育のために、SNS(Social Networking Service)システムを基盤とした新機能を研究開発する。
RFIDによる図書館システムに関する研究	藤崎清孝(システム情報科学研究院准教授) 井上創造(附属図書館研究開発室准教授) 南 俊朗(附属図書館研究開発室特別研究員 九州情報大学教授)	図書館業務の自動化・省力化及び、魅力ある図書館の実現のために、RFID(Radio Frequency Identification)を用いた図書館システムおよび無線通信技術に関する調査および応用研究を行う。

### III コンテンツ形成・発信に関する分野

図書館における著作権問題に関する調査研究	黒澤節男(附属図書館研究開発室特別研究員)	図書館における著作権問題を多角的に調査研究するとともに、今後、電子図書館システムの構築や図書館資料の電子化・発信を行う場合の個別事例に係る著作権問題について調査研究を行う。
貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する調査研究	今西裕一郎(人文科学研究院教授) 田村 隆(附属図書館研究開発室特別研究員 九州産業大学講師)	本学が所蔵する貴重資料等の画像データベース及び書誌データベース作成に当たっての対象資料の選定、データ作成方法、検索システム、表示方法等についての調査研究を行う。
資料保存に関する調査研究	岡崎 敦(人文科学研究院准教授) 栗山 平(附属図書館研究開発室特別研究員 元九州大学附属図書館職員)	本学が所蔵する資料の劣化予防・修復・調査・保存ガイドラインの整備に関する調査研究を行う。

## きゅうとステップアップ研修

### ◆貴重文物講習会

九州大学が所蔵する貴重資料に関して認識を深めること、図書館職員の専門性を高めることを目的とし、教員、大学院生も対象として開催しています。

19年度に引き続き、20年度は下記の日程で実施しました。

\*講習会の資料は「九州大学学術情報リポジトリ(QIR)」で公開

- |  |   |
|--|---|
| [第7回] 4/25 檜垣文庫について(1)<br>講師:吉田昌彦 比較社会文化研究院教授              | [第14回] 11/21 田村専一郎と支子(くちなし)文庫<br>講師:中野三敏 九州大学名誉教授                           |
| [第8回] 5/23 檜垣文庫について(2)・玉泉館史料について<br>講師:吉田昌彦 比較社会文化研究院教授    | [第15回] 12/19 ロイドモーガン・コレクション<br>講師:片野 博 芸術工学研究院教授                            |
| [第9回] 6/20 近世儒学関係諸文庫について<br>講師:柴田 篤 人文科学研究院教授              | [第16回] 1/22 芸術工学分館所蔵の20世紀の椅子について<br>講師:石村真一 芸術工学研究院教授                       |
| [第10回] 7/25 クンケル文庫について<br>講師:西村重雄 福岡工業大学教授                 | [第17回] 2/13 中央図書館所蔵 近藤文庫について<br>講師:山根泰志 附属図書館コンテンツ整備課電子化係<br>柴田 篤 人文科学研究院教授 |
| [第11回] 8/22 旧制福岡高等学校関係資料について<br>講師:折田悦郎 大学文書館教授            | [第18回] 3/13 1955年郭沫若の九大訪問とその軌跡<br>講師:岸田憲也 大学院人文科学府博士課程                      |
| [第12回] (延期) 九大所蔵の貴重古医書について<br>講師:Wolfgang Michel 言語文化研究院教授 |   |
| [第13回] 10/24 九州大学とアート ー過去から未来へー<br>講師:後小路雅弘 人文科学研究院教授      |   |

20年度は貴重文物講習会を契機として、下記のような新たな発見や成果が生まれました。

- ・第9回講習会を契機として、近藤文庫をはじめとする中央図書館所蔵の儒学関係諸文庫の存在が再発見され、第17回講習会においてその成果を発表した。
- ・第13回講習会を契機として、中央図書館保管の岡田三郎助「第二代総長真野文二博士」の美術的価値が再発見され、後小路教授により本格的な調査が行われた。
- ・第14回講習会を契機として、形態的特殊性により未整理状態であった支子文庫の零葉集や文書類等に対して調査を実施し、データベースや展示会等により一般に公開した。

### ◆情報検索から入手まで

目的に応じた検索ツールの選択・効果的な検索・入手活用方法等を実習形式で行っています。20年度は、利用者向けの利用講習会を兼ねて実施しました。

## 平成20年度図書系職員初任者研修

新任図書館員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業計画等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。

これらの講義は、初任者以外の職員も多数聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

### 【プログラム】

#### <5/20(火)>

- 9:15-10:00 九州大学附属図書館の将来構想
- 10:15-11:00 九州大学附属図書館の概要と図書館業務の流れ
- 11:15-12:00 九州大学統合移転と新図書館構想
- 13:00-14:00 ネットワークとセキュリティ
- 14:15-15:45 中央図書館内見学
- 16:00-17:00 九州大学附属図書館の改革

#### <5/21(水)>

- 9:00-9:30 図書館業務システム概要
- 9:45-12:00 文献検索実習
- 13:00-14:30 e-Resource概要 サービスの現在とこれから
- 15:00-17:00 雑誌業務概要・雑誌受入実習

#### <5/22(木)>

- 9:00-9:45 閲覧サービスの基本
- 10:00-11:00 カウンター業務実習
- 11:15-12:00 QIR概要
- 13:00-14:00 研究開発室の概要と最近の研究内容
- 14:15-16:15 図書業務概要・図書目録実習

#### <5/23(金)>

- 9:00-11:00 ILL業務概要・ILL実習
- 14:00-15:00 六本松移転の実際
- 15:00-16:30 貴重文物講習会

# 統計 = 利用サービス = Statistics

平成20<2008>年度

		中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	六本松図書館 Roppo-nmatsu Lib.	理系図書館 Sci. & Tech. Lib.	文系合同図書室 Human. & Soc.Sci.Lib.	合計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekdays	237	236	243	239	209	233	224	1,621
	土曜 Saturdays	49	47	31	49	43	48	39	306
	日曜・祝日 Others	63	63	7	0	57	8	0	198
	合計 Total	349	346	281	288	309	289	263	2,125
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculty	16,671	10,019	1,944	613	2,658	4,391	6,440	42,736
	学生 Students	284,634	117,255	28,848	44,015	187,934	77,201	25,760	765,647
	学外者 Others	42,991	6,160	1,880	3,904	5,396	3,227	346	63,904
	合計 Total	344,296	133,434	32,672	48,532	195,988	84,819	32,546	872,287
貸出冊数 Circulation(Items) (冊)	教職員 Faculties	8,584	2,742	4,638	830	12,310	2,809	15,813	47,726
	学生 Students	62,307	16,923	19,615	6,583	38,179	22,079	36,341	202,027
	学外者 Others	810	300	306	82	0	287	0	1,785
	合計 Total	71,701	19,965	24,559	7,495	50,489	25,175	52,154	251,538
貸出者数 Circulation(Users) (人)	教職員 Faculties	4,099	1,386	1,714	463	4,059	1,442	5,170	18,333
	学生 Students	31,705	10,710	8,705	3,763	21,481	11,695	14,179	102,238
	学外者 Others	515	154	183	43	0	187	0	1,082
	合計 Total	36,319	12,250	10,602	4,269	25,540	13,324	19,349	121,653
文献複写件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Received(Domestic)	7,505	21,716	517	-	-	-	-	29,738
	学外からの受付(国外) Received(International)	139	1	5	-	-	-	-	145
	小計 Subtotal	7,644	21,717	522	-	-	-	-	29,883
	学内からの受付 (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)	906 (307)	283 (86)	73 (37)	51 (24)	77 (59)	365 (250)	-	1,755 (763)
	合計 (うち謝絶)	8,550 (608)	22,000 (1,014)	595 (57)	51 (4)	77 (8)	365 (3)	-	31,638 (1,694)
	学外への依頼(国内) Request(Domestic)	3,232	2,143	239	209	822	408	-	7,053
	学外への依頼(国外) Request(International)	87	18	2	0	5	0	-	112
	合計 (うち謝絶)	3,319 (319)	2,161 (118)	241 (6)	209 (13)	827 (21)	408 (60)	-	7,165 (537)
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Lending(Domestic)	1,728	52	167	-	345	44	-	2,336
	学外からの受付(国外) Lending(International)	0	0	0	-	0	0	-	0
	合計 (うち謝絶)	1,728 (279)	52 (0)	167 (16)	-	345 (10)	44 (4)	-	2,336 (309)
	学外への依頼(国内) Borrowing(Domestic)	914	28	77	12	376	60	-	1,467
	学外への依頼(国外) Borrowing(International)	0	0	0	0	0	0	-	0
	合計 (うち謝絶)	914 (104)	28 (0)	77 (4)	12 (0)	376 (29)	60 (15)	-	1,467 (152)
レファレンス件数 Reference transactions (件)	教職員 Faculties	601	5,668	126	151	3,151	478	314	10,489
	学生 Students	2,176	2,746	537	113	1,108	1,662	2,647	10,989
	学外者 Others	1,069	443	193	15	167	253	1,074	3,214
	合計 Total	3,846	8,857	856	279	4,426	2,393	4,035	24,692
	所在調査 Holdings	842	5,580	247	50	3,595	547	3,228	14,089
	事項調査 Topics	185	177	34	165	704	14	201	1,480
	利用指導・その他 Instructions/Others	2,819	3,100	575	64	127	1,832	606	9,123
合計 Total	3,846	8,857	856	279	4,426	2,393	4,035	24,692	

※六本松図書館は、21.2.18をもって閉館 ※医学図書館・筑紫図書館については、ICカード所持者に対し、24時間365日開館した。



## 電子ジャーナルの利用 (主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal package

2008.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	270,132	Nature Site License	97,539
American Institute of Physics (AIP)	36,565	ProQuest Academic Research Library	11,294
American Physical Society (APS)	32,714	ProQuest Health & Medical Complete	7,275
Elsevier Science Direct Freedom Collection	850,199	SpringerLink	97,118
Journals@Ovid	3,852	Taylor & Francis	22,119
Karger	10,237	Wiley InterScience (旧Blackwell含む)	204,087
合計 Total		1,643,131	

## 情報検索サービスの利用

Databases

2008.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
きゆうとサービス Cute services	きゆうとOPAC	九大所在情報	1,711,015	-
	きゆうとLinQ	リンクリソルバ	492,141	-
	きゆうとE-Journals	電子ジャーナル集	230,197	-
	きゆうとMyLibrary	図書館ポータル	-	44,846
	RefWorks	文献管理ツール	-	7,689
文献情報 Abstracts & index databases	CiNii	全分野(国内)	311,783	110,228
	Web of Science (Web of Knowledge)	全分野	306,915	75,583
	SciFinder Scholar	化学	167,235	46,676
	Scopus	自然・社会科学	108,597	41,516
	医中誌Web	医学(国内)	-	28,166
	JDreamII	自然科学	24,165	7,536
	MEDLINE (Ovid)	医学	16,739	3,758
	PsycINFO (Ovid)	心理学	10,886	2,844
	Econlit (Ovid → EBSCOhost)	経済学	5,377	1,869
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	2,979	639
	EBM Reviews (Ovid)	医学	635	219
	Current Contents Connects (Web of Knowledge)	全分野(~2008.4)	568	230
	ERIC (Ovid)	教育学	497	188
事典類 References	日国Online	(国内)	-	3,080
	Japan Knowledge	(国内)	-	1,538
	日本歴史地名大系	(国内)	-	725
	Gale Virtual Reference Library		1,190	484
	Marquis Who's Who on the Web		617	-
	理科年表プレミアム	(国内)	-	224
新聞 Newspaper articles	聞蔵II ビジュアル for Libraries	朝日新聞など	-	2,063
インパクトファクター Impact factor	Journal Citation Reports [JCR] (Web of Knowledge)	自然科学	24,070	23,010

## 学内配送サービスの利用 (図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

平成20<2008>年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.	医学図書館 Medical Lib.	六本松図書館 Ropponmatsu Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	理系図書館 Sci.& Tech.Lib.	計 Total
中央図書館 Central Lib.			2,542	540	5,550	1,725	489	1,529	12,375
文系合同図書室 Human.& Soc.Sci.Lib.		3,665		174	2,892	581	49	178	7,539
医学図書館 Medical Lib.		690	138		416	161	104	185	1,694
六本松図書館 Ropponmatsu Lib.		5,257	2,872	384		1,035	191	847	10,586
芸術工学図書館 Design Lib.		1,743	559	182	1,112		195	494	4,285
筑紫図書館 Chikushi Lib.		525	53	100	234	180		506	1,598
理系図書館 Sci.& Tech.Lib.		1,735	221	217	990	486	438		4,087
計 Total		13,615	6,385	1,597	11,194	4,168	1,466	3,739	42,164

図書・雑誌(冊子体)の受入

Current acquisitions of materials

平成20(2008)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館	中央図書館 Central Library	5,576	464	6,040	1,985	168	2,153
	理学研究院 Faculty of Sciences	152	405	557	421	449	870
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	1,452	6,945	8,397	53	475	528
	農学研究院 Faculty of Agriculture	3,102	3,299	6,401	1,934	934	2,868
	小計 Central Library Total	10,282	11,113	21,395	4,393	2,026	6,419
医学図書館	医学図書館 Medical Library	1,085	660	1,745	712	555	1,267
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	513	340	853	67	14	81
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	2	15	17	13	23	36
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	9	9	18	5	4	9
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	4	1	5	0	2	2
	病院(医・歯) University Hospital	223	88	311	108	113	221
	小計 Medical Library Total	1,836	1,113	2,949	905	711	1,616
芸術工学図書館 Design Library		3,135	330	3,465	463	119	582
筑紫図書館	筑紫図書館 Chikushi Library	517	275	792	280	76	356
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	16	35	51	17	1	18
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	20	7	27
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	11	2	13	1	0	1
	健康科学センター Institute of Health Science	29	31	60	23	14	37
	小計 Chikushi Library Total	573	343	916	341	98	439
六本松図書館	六本松図書館 Ropponmatsu Library	5,037	1,037	6,074	849	58	907
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	3,592	800	4,392	181	75	256
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	1,064	468	1,532	28	57	85
	小計 Ropponmatsu Library Total	9,693	2,305	11,998	1,058	190	1,248
理系図書館	理系図書館 Science and Technology Library	1,856	530	2,386	89	6	95
	工学研究院 Faculty of Engineering	272	410	682	248	202	450
	システム情報科学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	269	90	359	91	59	150
	小計 Science and Technology Library Total	2,397	1,030	3,427	428	267	695
文系合同図書室	文学部 School of Letters	5,355	2,342	7,697	2,533	326	2,859
	教育学部 School of Education	972	246	1,218	787	97	884
	法学研究院 Faculty of Law	4,165	2,088	6,253	585	316	901
	経済学研究院 Faculty of Economics	1,659	948	2,607	645	232	877
	人環 都市・建築学部門 Faculty of Human-Environment Studies, Dep. of Arch. & Urban Design	313	251	564	49	40	89
	小計 Humanities and Socialsciences Library Total	12,464	5,875	18,339	4,599	1,011	5,610
生体防御医学研究所(別府) Medical Institute of Bioregulation (Beppu)		0	0	0	56	14	70
記録資料館 Manuscript Library		727	10	737	424	3	427
情報基盤研究開発センター Research Institute for Information Technology		30	23	53	3	5	8
合計 Total		41,137	22,142	63,279	12,670	4,444	17,114

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館・室の単位で大区分を行い、その中を部局・附置研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館・室の項目に計上している。

(注2) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

## 資料費 Expenditures for library materials

平成20<2008>年度  
(単位:千円/thousand yen)

	資料費総額 Total	(うち)図書費 Books	(うち)雑誌・新聞費 Serials	(うち)電子ジャーナル等 Electronic resources
中央図書館 Central Library	674,393	68,117	102,132	487,464
医学図書館 Medical Library	56,950	25,620	21,395	8,240
芸術工学図書館 Design Library	23,742	14,356	7,207	164
筑紫図書館 Chikushi Library	22,865	17,308	5,484	0
六本松図書館 Ropponmatsu Library	56,750	42,335	11,629	0
理系図書館 Science and Technology Library	81,350	40,053	39,331	0
文系合同図書室 Humanities and Social Sciences Library	202,618	131,049	46,872	19,067
生体防衛医学研究所(別府) Medical Institute of Bioregulation(Beppu)	678	0	436	242
記録資料館 Manuscript Library	1,290	1,144	130	0
情報基盤研究開発センター Research Institute for Information Technology	4,007	67	155	3,714
合計 Total	1,124,643	340,049	234,771	518,891

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。  
(注2) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む。

## 電子ジャーナル E-Journals

平成21<2009>年5月1日現在

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む)  
Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles	42,804
----------------------	--------

契約タイトル数 Licensed e-Journals

平成21<2009>年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	36	LexisNexis: Academic & Iexis.com	6,931
American Institute of Physics (AIP)	12	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	19
American Physical Society (APS)	8	Medical Online Library (MOL) *	688
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	23	Nature Publishing Group	22
Association for Computing Machinery: ACM Portal	413	Oxford University Press	190
Cambridge University Press	21	ProQuest Academic Research Library	4,061
Cell Press	5	ProQuest Health & Medical Complete	1,511
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	Science	1
CiNii *	411	SourceOECD	28
EBSCOhost: Business Source Premier	9,205	SpringerLink	1,660
Elsevier Science Direct	1,706	Taylor & Francis	1,496
IEEE: ASPP Online, POP Online	264	Thieme	0
IEICE *	8	UniBioPress *	6
Institute of Physics (IOP)	12	University of Chicago Press	12
Institute of Pure and Applied Physics (IPAP) *	1	Wiley InterScience (旧Blackwell含む)	1,257
Journals@Ovid	7	World Scientific Publishing	17
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	365	その他	570
Karger	77		
合計 Total		合計 Total	31,045

(注) 契約タイトル数は、出版者間の重複を含む延べタイトル数である。

\*国内誌

## 蔵書数 Holdings

平成21<2009>年3月31日現在

	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total
中央図書館 Central Lib.	563,456	419,489	982,945	17,936	13,009	30,945
医学図書館 Medical Lib.	141,696	207,020	348,716	3,360	8,987	12,347
芸術工学図書館 Design Lib.	115,214	50,497	165,711	1,750	970	2,720
筑紫図書館 Chikushi Lib.	63,686	78,297	141,983	1,514	1,195	2,709
六本松図書館 Ropponmatsu Lib.	294,550	133,409	427,959	2,877	1,707	4,584
理系図書館 Sci. & Tech. Lib.	180,104	242,506	422,610	3,537	5,435	8,972
文系合同図書室 Human. & Soc. Sci. Lib.	789,008	597,602	1,386,610	16,897	8,274	25,171
生体防衛医学研究所(別府) Medical Institute of Bioregulation (Beppu)	6,913	13,487	20,400	288	347	635
記録資料館 Manuscript Lib.	50,661	3,907	54,568	1,577	30	1,607
情報基盤研究開発センター Research Institute for Information Technology	2,650	8,436	11,086	42	83	125
合計 Total	2,207,938	1,754,650	3,962,588	49,778	40,037	89,815

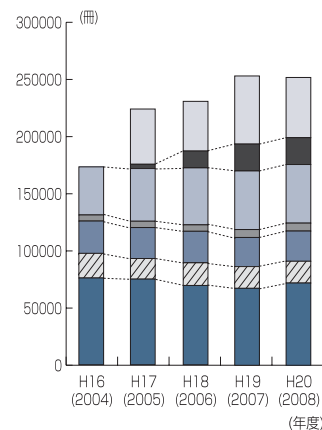
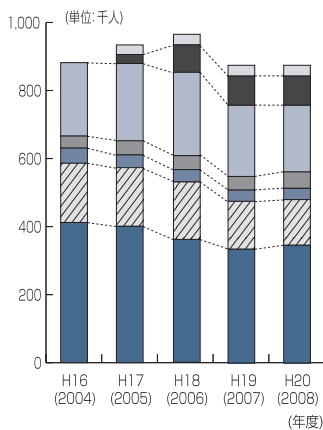
(注1) 図書所蔵冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

## ■ 利用サービスの推移



入館者数

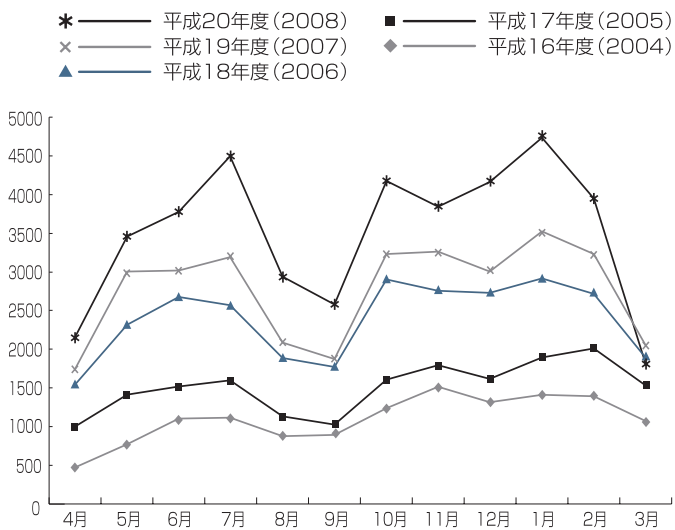
貸出冊数



入館者数・貸出冊数共に、全体的には堅調に推移しており、中央図書館、筑紫図書館では入館者数の増加と共に、貸出冊数の増加も見られます。特に筑紫図書館では貸出冊数について、開館以来順調に増加しています。

一方、六本松図書館での入館者数の減少は、21年2月からの六本松図書館閉館に伴う影響が考えられます。また、理系図書館・医学図書館では入館者数は減少していますが、貸出冊数は増加しています。これは、電子ジャーナルやオンライン上での資料検索・配送申込などの活用により、来館の必要性が減少したことが要因ではないかと思われます。

学内配送サービス利用件数の推移



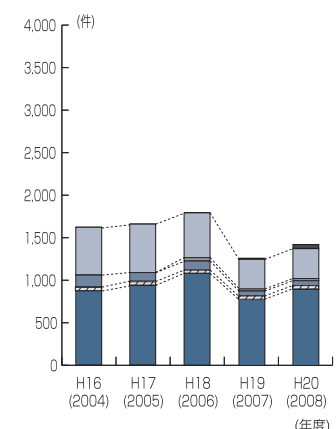
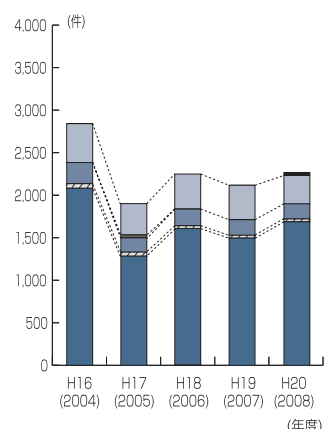
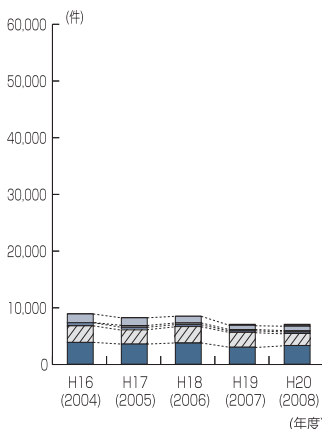
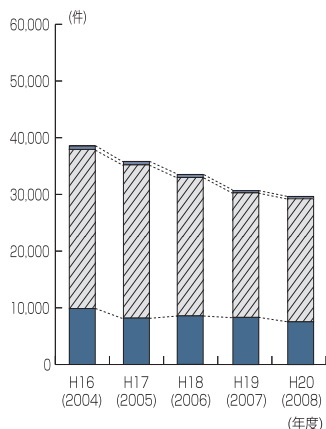
学内配送サービスはほとんどの月で、前年度を大きく上回りました。特に7～9月の増加は著しく、19年度比約40%の増加となっており、全体でも約27%増加しています。7月及び1月にピークがあるのが確認できます。運用5年目の20年度の利用は、運用初年度と比べ約3倍となっており、学内配送サービスが利用者の間で、より活発に利用されていることがうかがえます。

文献複写件数【受付】

文献複写件数【依頼】

相互貸借件数【受付】

相互貸借件数【依頼】



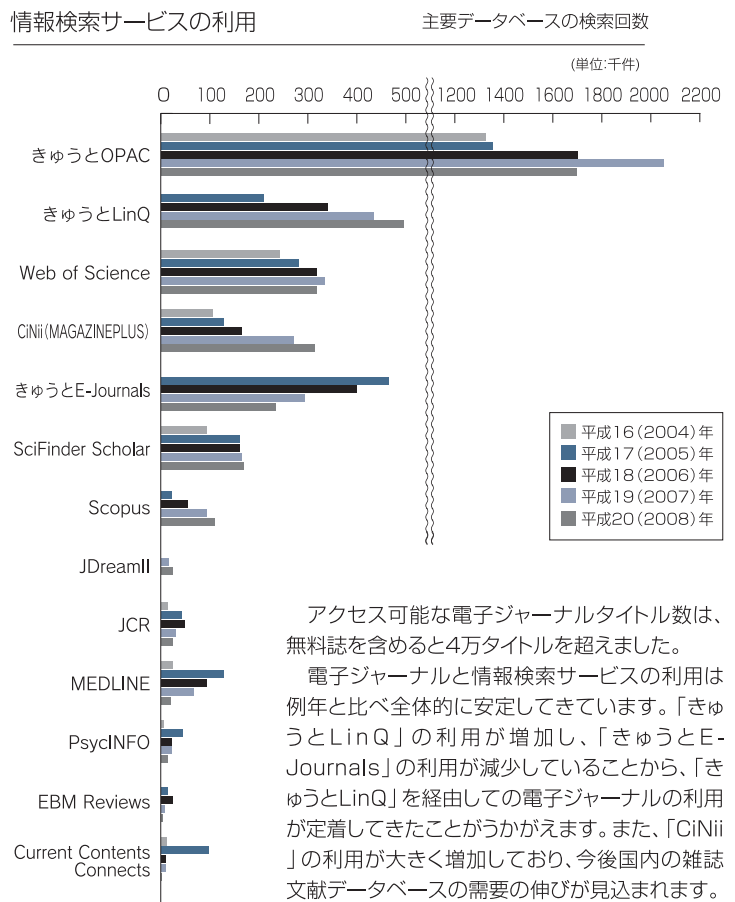
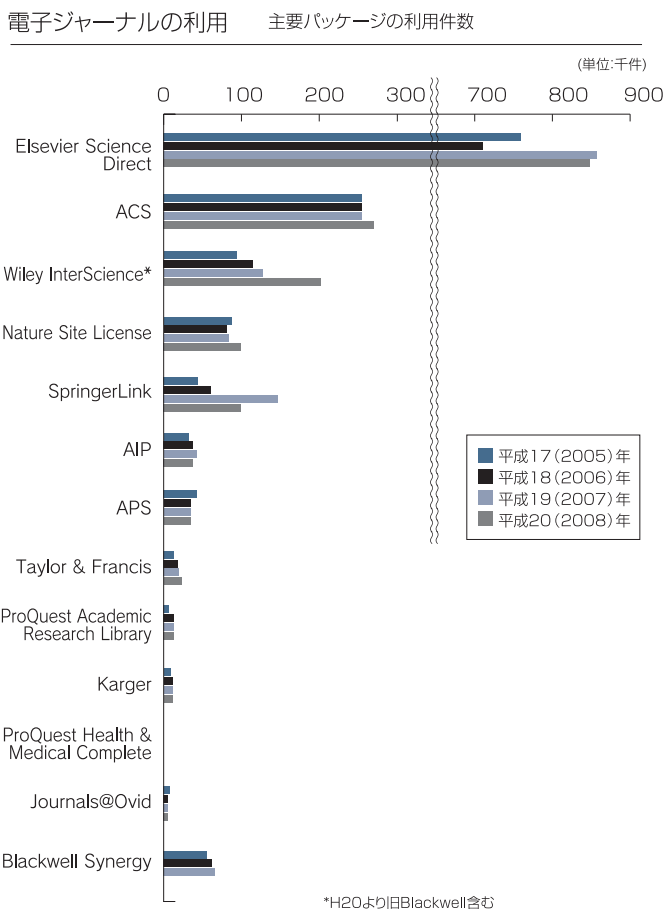
受付(学外機関への文献コピーの提供)は、例年どおり減少しています。これは、各大学における電子ジャーナルのアクセス環境の向上がさらに進んでいることが要因と考えられます。

依頼(学外機関からの文献コピーの取寄せ)は、全体として変化はなく昨年並みですが、中央図書館が約1割増、また理系図書館が約2.5倍の増加となりました。

受付(学外機関への図書貸出)は、中央図書館では増加となりましたが、芸術工学図書館、六本松図書館では減少となり、全体として1割弱の増加となりました。また、20年度より理系図書館での受付を開始しました。

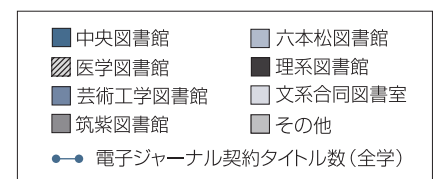
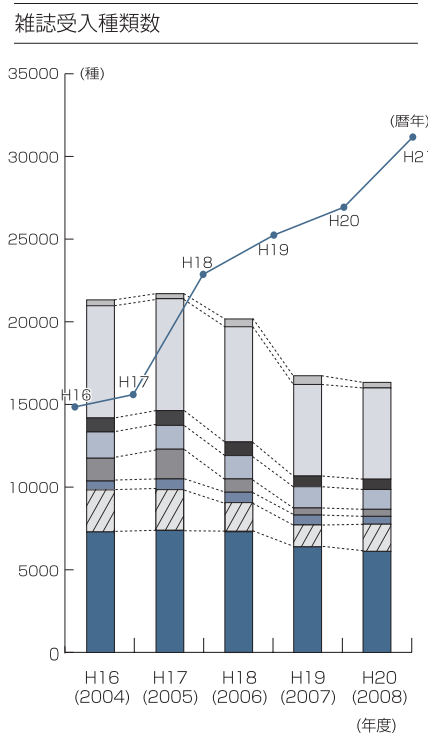
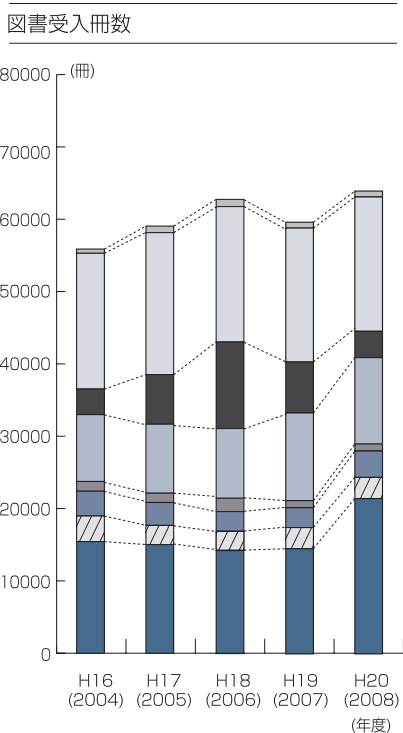
依頼(学外機関からの図書借受)は、中央図書館、芸術工学図書館、六本松図書館および理系図書館では増加となりましたが、医学図書館、筑紫図書館では減少となり、全体としては1割強の増加となりました。特に理系図書館は、19年10月の受付開始より順調に利用が増加しており、文献複写(依頼)の増加とともに現物資料への要求が高くなったことが見て取れます。

## 電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移



アクセス可能な電子ジャーナルタイトル数は、無料誌を含めると4万タイトルを超えました。電子ジャーナルと情報検索サービスの利用は例年と比べ全体的に安定してきています。「きゅうとLinQ」の利用が増加し、「きゅうとE-Journals」の利用が減少していることから、「きゅうとLinQ」を経由しての電子ジャーナルの利用が定着してきたことがうかがえます。また、「Cinii」の利用が大きく増加しており、今後国内の雑誌文献データベースの需要の伸びが見込まれます。

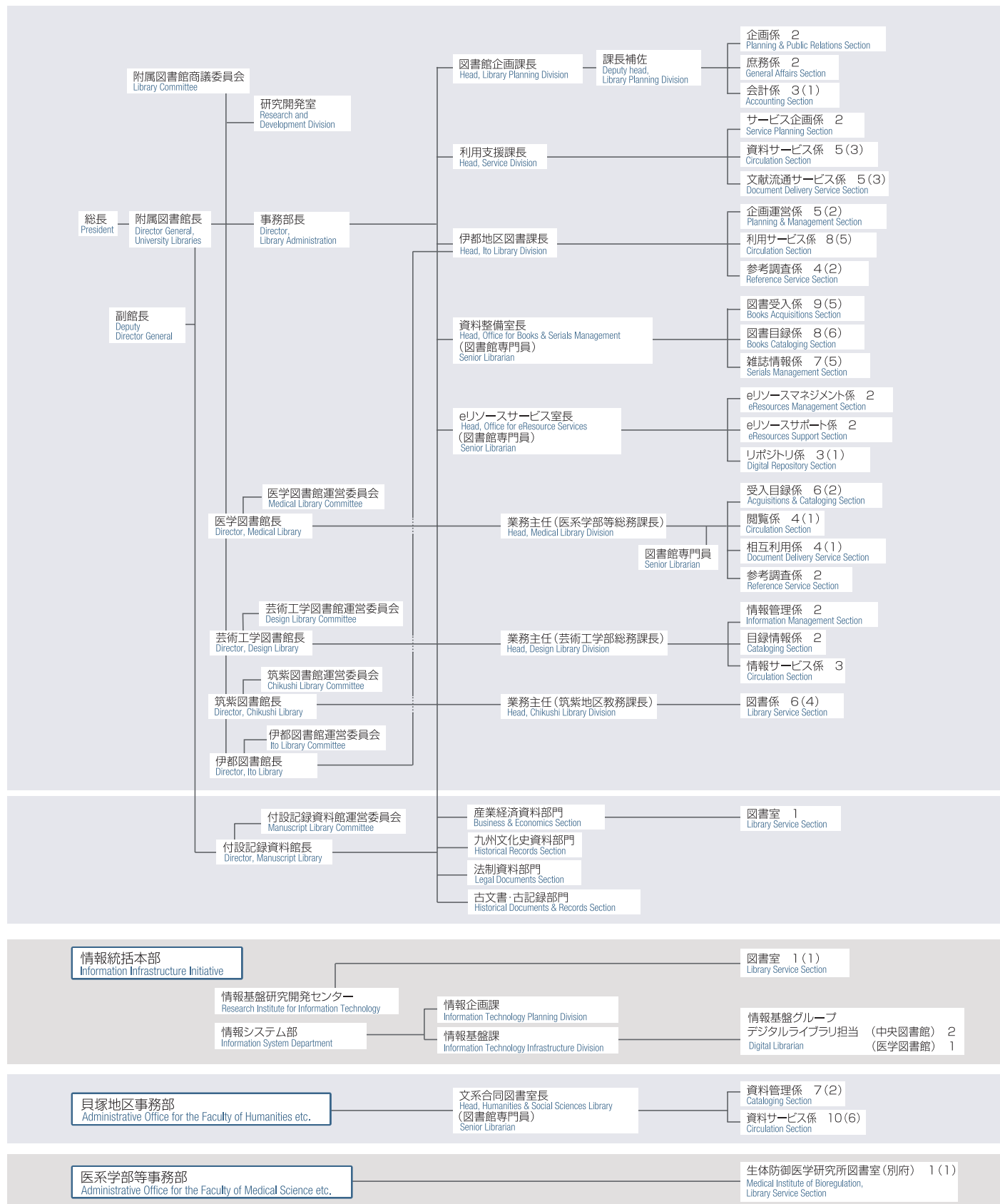
## 資料受入の推移



図書については、移転を控えた数理学研究院における雑誌製本と、中央図書館分の図書受入冊数の増加により、中央図書館の受入冊数が約5割増加しました。雑誌については、電子ジャーナル契約数の更なる増加に伴い、冊子体雑誌受入数の減少傾向が続いています。

# 組織 Organization

(平成21年4月1日現在)



区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
職員数	1	3	1	4	24	95(51)	128

※注) 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。( )内は事務補佐員で内数、時間外開館の職員等を除く。

## 附属図書館長・副館長・分館長等

平成21年4月1日現在

附属図書館長 丸野 俊一(理事・副学長)  
副館長 吉田 素文(医学研究院 教授)  
医学図書館長 吉田 眞一(医学研究院 教授)  
芸術工学図書館長 石村 眞一(芸術工学研究院 教授)

筑紫図書館長 柄原 浩(総合理工学研究院 教授)  
伊都図書館長 和田 清(システム情報科学研究院 教授)  
記録資料館長 三輪 宗弘(記録資料館 教授)  
事務部長 濱崎 修一

## 附属図書館商議委員会

平成21年4月1日現在

### <委員長>

丸野 俊一 理事・副学長、附属図書館長

### <委員>

吉田 素文 医学研究院 教授、副館長

吉田 眞一 医学研究院 教授、医学図書館長

石村 眞一 芸術工学研究院 教授、芸術工学図書館長

柄原 浩 総合理工学研究院 教授、筑紫図書館長

和田 清 システム情報科学研究院 教授、伊都図書館長

三輪 宗弘 記録資料館 教授、記録資料館長

青柳 睦 情報基盤研究開発センター 教授、情報基盤研究開発センター長

吾郷 眞一 理事・副学長、留学生センター長

淵田 吉男 高等教育開発推進センター 教授、高等教育開発推進センター長

竹村 則行 人文科学研究院 教授

神寶 秀夫 //

吉田 昌彦 比較社会文化研究院 教授

清水 靖久 //

望田 研吾 人間環境学研究院 教授

堀 賀貴 //

直江 眞一 法学研究院 教授

七戸 克彦 //

田北 廣道 経済学研究院 教授

関 源太郎 //

太田 一昭 言語文化研究院 教授

恒吉 法海 //

荒殿 誠 理学研究院 教授

佐野 弘好 //

隠居 良行 数理学研究院 教授

佐伯 修 //

岩城 徹 医学研究院 教授

笹栗 俊之 //

中西 博 歯学研究院 教授

山下 喜久 //

黒瀬 等 薬学研究院 教授

財津 潔 //

麻生 茂 工学研究院 教授

石橋 健二 //

河辺 哲次 芸術工学研究院 教授

富板 崇 //

鈴木英之進 システム情報科学研究院 教授

船木 和夫 //

青木百合子 総合理工学研究院 教授

濱本 貴一 //

山下 昭二 農学研究院 教授

伊東 正一 //

藤 博幸 生体防御医学研究所 教授

中村 一男 応用力学研究所 教授

三島 正章 先導物質化学研究所 教授

西村 秀樹 健康科学センター 教授

濱崎 修一 附属図書館事務部長

## 所属する図書館関係団体と九州大学の役割

### 附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館 会員館数:92)  
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館 加盟館:11)  
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館 加盟館:78)  
福岡県図書館協会 副会長(理事):館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)  
福岡県・佐賀県大学図書館協議会(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

### 医学図書館

日本医学図書館協会 評議員館(全国の医学系および病院図書館・図書室)  
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系図書館)

# 人事異動 Personnel Reshuffle

(平成19年4月1日～20年3月31日)

中央図書館		異動後	異動前
4.1	渡邊由紀子	専門員(兼)e)室長	コ)電子情報係長
	清田 要一	企)庶務係	筑紫地区庶務課研究協力係長
	河上 章彦	(兼)利)資料サービス係長	
	山崎 法子	(復帰)利)文献流通サービス係長	福岡教育大学図書館課図書館資料係
	吉松 直美	コ)電子化係長	コ)図書情報係
	久原 明美	e)eリソースマネジメント係長	文)資料管理係長
	片岡 真	e)eリソースサポート係長	利)調査サービス係
	羽賀真記子	企)企画係	文)資料管理係
	轟 朋子	e)eリソースマネジメント係	コ)電子情報係
	牧瀬ゆかり	e)eリソースサポート係	利)調査サービス係
	原賀可奈子	(採用)利)資料サービス係	
	宮嶋 舞美	(採用)コ)図書情報係	
	鷹巢 重徳	(アウトソーシングセンター専門職員)	企)庶務係長
	阿部 千宏	(農学部農業資源経済学部門)	コ)図書情報係事務補佐員
	田坂 孝二	利)資料サービス係事務補佐員	利)文献流通サービス係事務補佐員
	長野 玲奈	利)サービス企画係事務補佐員	利)資料サービス係事務補佐員
	柴田とみ子	利)文献流通サービス係事務補佐員	利)サービス企画係事務補佐員
	川元 亜矢	コ)雑誌情報係事務補佐員	コ)電子情報係事務補佐員
	今泉登美子	利)文献流通サービス係事務補佐員	コ)雑誌情報係事務補佐員
	菱川 辰也	(採用)コ)電子化係事務補佐員	
6.1	福田 英美	(採用)コ)図書情報係事務補佐員	
7.1	河上 章彦	コ)雑誌情報係長	利)サービス企画係長 (兼)資料サービス係長
	大瀧 礼二	コ)図書情報係長	コ)雑誌情報係長
	江藤 弘史	利)サービス企画係長 (兼)資料サービス係長	芸)情報サービス係長
	柴田 勝美	(特定研究支援部レドックスナビ 研究拠点支援室会計係長)	企)会計係長
	大宅 号帥	企)会計係長	農学部附属農場・演習林専門職員
9.16	渡邊由紀子	(兼)e)eリソースサポート係長	
9.30	有川 節夫	(退任)	図書館長
	荒木啓二郎	(退任)	副館長
10.1	丸野 俊一	図書館長	
	吉田 素文	副館長	
	海津佳寿美	(総務部総務課秘書係主任)	企)庶務係主任
	高橋 美樹	企)庶務係主任	工学部等総務課庶務係主任
10.16	吉峯かおり	(採用)コ)電子化係事務補佐員	
1.1	兵藤 健志	e)eリソースサポート係	医)受入目録係
	大宅 号帥	(財務部調達課専門職員)	企)会計係長
	江島香代子	(兼)企)会計係長	
2.1	大村 明美	(国際交流部国際交流課国際総務係)	利)資料サービス係
	大村 武史	(採用)利)資料サービス係	
3.31	濱崎 修一	(定年退職)	事務部長
	菱川 辰也	(退職)	コ)電子化係事務補佐員

## 医学分館

4.1	恒吉 正澄	分館長	
	高原 秀典	閲覧係長	筑波大学附属図書館
	廣松ケイ子	相互利用係事務補佐員	医学研究院附属動物実験施設事務補佐員
	田代いずみ	閲覧係事務補佐員	医学研究院医療情報学分野事務補佐員
7.1	上田はるみ	受入目録係	芸)情報サービス係

7.1	秋月 和美	参考調査係	受入目録係
1.1	越戸 陽子	(採用)受入目録係	
3.31	恒吉 正澄	(退任)	分館長
	田村 雅生	(定年退職)	相互利用係長
	山崎 弘人	(退職)	相互利用係
	登坂 明子	(退職)	相互利用係

## 芸術工学分館

4.1	松永 由紀	図書館専門員・目録情報係長	利)資料サービス係長
7.1	沖 政広	情報サービス係長	六)利用サービス係長
	三坂 雅子	情報サービス係	文)資料管理係
3.31	片野 博	(退任)	分館長

## 筑紫分館

4.1	栃原 浩	分館長	
	西島 徹	図書係長	文)資料サービス係長

## 六本松分館

4.1	田中由紀子	図書情報係長	コ)電子化係長
7.1	井ノ上俊哉	利用サービス係長	コ)図書情報係長

## 理系図書館

3.1	村山みな代	サービス係事務補佐員	六)利用サービス係事務補佐員
-----	-------	------------	----------------

## 記録資料館 産業経済資料部門

4.1	穴見 一博	(採用)	
-----	-------	------	--

## 情報システム部情報基盤課

9.16	片岡 真	専門職員	e)eリソースサポート係長
------	------	------	---------------

## 文系合同図書館

4.1	山田由美子	資料管理係	資料サービス係
	尾上 五男	資料管理係長	利)調査サービス係長
	高田 宏昭	資料サービス係長	利)文献流通サービス係長
	小林 伸子	資料サービス係	記録資料館 産業経済資料部門
7.1	島田久美子	資料サービス係	工学部等事務部 教務課学生支援係
	篠田 繁寿	資料管理係	医)参考調査係
	小林 伸子	(理学部等事務部地球惑星科学部門)	資料サービス係
8.1	武下由以子	(採用)資料サービス係 (法科大学院図書担当)事務補佐員	

## 【訃報】

青木良秀(情報システム部情報基盤課デジタルライブラリ担当)  
8月25日 逝去

- |               |            |
|---------------|------------|
| 企) 図書館企画課     | 芸) 芸術工学分館  |
| 利) 利用支援課      | 筑) 筑紫分館    |
| コ) コンテンツ整備課   | 六) 六本松分館   |
| e) eリソースサービス室 | 理) 理系図書館   |
| 医) 医学分館       | 文) 文系合同図書館 |



## 年間刊行物

### 附属図書館発行

- 『九州大学附属図書館年報2007/2008』 (2008.5)
- 『九州大学附属図書館研究開発室年報2007/2008』 (2008.10)
- 『ありがとう六本松図書館：九大生の学びを支え続けて』 (2009.2)
- 『きゅうとNEWSLETTER Vol.3, No.1』 (2008.4)
- 『きゅうとNEWSLETTER Vol.3, No.2』 (2008.6)
- 『きゅうとNEWSLETTER Vol.3, No.3』 (2008.10)
- 『きゅうとNEWSLETTER Vol.3, No.4』 (2009.3)



### 付設記録資料館発行

- 『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター Vol.3』 (2009.3)

### 付設記録資料館産業経済資料部門発行

- 『石炭研究資料叢書 No.30』 (2009.1)
- 『エネルギー史研究 No.24』 (2009.3)

## 貴重書の出版物への掲載・TV等での放映

### 出版物への掲載

資料名	所蔵館(文庫)	掲載資料名	
シーボルト「日本史」	医学図書館	鑄物師のつづやき / 杉山清著	(実業之富山社, H20.6)
「機巧図彙」	中央図書館(桑木文庫)	福本和夫著作集第7巻の月報	(こぶし書房, H20.7)
蝦夷蘭境輿地全図	文系合同図書室(法)	回天ふたたび: 坂本龍馬(歴史ポケット人物新聞)	(大空出版, H20.8)
ケンペル「日本誌」	医学図書館	「鎖国」という外交 / ロナルド・トビ著(日本の歴史9)	(小学館, H20.8)
蒙古襲来絵詞	中央図書館	若者に伝えたい中国の歴史: 共同の歴史認識に向けて / 歩平, 劉小萌, 李長莉著; 鈴木博訳	(明石書店, H20.8)
蒙古襲来絵詞	中央図書館	自由・平等・権利と義務 / 西村一夫他著; 有田和正編・解説(社会科で育てる新しい学力 / 有田和正編・解説, 3)	(明治図書, H20.8)
日本山海名物図会	中央図書館	徳川の国家デザイン / 水本邦彦著(日本の歴史10)	(小学館, H20.9)
蒙古襲来絵詞	中央図書館	週刊歴史のミステリー35号	(デアゴスティーニ・ジャパン, H20.9)
執筆作法	中央図書館(支子文庫)	文芸会席作法書集: 和歌・連歌・俳諧 / 廣木一人, 松本麻子, 山本啓介編	(風間書房, H20.10)
Smellieの産科書	医学図書館	性欲の文化史 / 井上章一編(講談社選書メチエ)	(講談社選書出版部, H20.10)
日本山海名物図会	中央図書館	徳川社会のゆらぎ / 倉地克直著(日本の歴史11)	(小学館, H20.11)
環海異聞	文系合同図書室(法)	開国への道 / 平川新著(日本の歴史12)	(小学館, H20.11)
社会事業の友 厚生事業の友	文系合同図書室(法)	翻刻) 雑誌社会事業の友 / 近現代資料刊行会企画編集(戦前・戦中期アジア研究資料; 5)	(近現代資料刊行会, H20.12)
蒙古襲来絵詞	中央図書館	21世紀子ども百科ものはじまり館(火薬の項)	(小学館, H20.12)
蒙古襲来絵詞	中央図書館	歴史雑学BOOK 図解 武器・甲冑全史 日本編(ローレンスミック 歴史雑学BOOK)	(綜合図書, H21.1)
"Amoenitatum Exoticarum (Kaempfer) 鎖国論"	中央図書館(桑木文庫)	「鎖国」という言説: ケンペル著・志筑忠雄訳『鎖国論』の受容史 / 大島明秀著	(ミネルヴァ書房, H21.1)
参宮紀行	文系合同図書室(文)	参宮・遷宮・伊勢神宮: 鳥取と伊勢のつながり / 霞会館資料展示委員会編	(霞会館, H21.1)
名島城御館之図	文系合同図書室(文)	城郭襖絵「梅に鴉図」の謎: 古美術常設企画展福岡と雲谷派 / 福岡市美術館学芸課編	(福岡市美術館, H21.1.6)
枕双紙 十三行古活字版	中央図書館(支子文庫)	社会科資料集6年 2009-10年版	(文溪堂)

### TV等での放映

資料名	所蔵館(文庫)	放映番組	放送局
大和本草	中央図書館	ザ!鉄腕!DASH!! (H20.5.18)	日本テレビ
十三行古活字版 枕双紙	中央図書館(支子文庫)	世界一受けたい授業 (H20.7.25)	日本テレビ
蒙古襲来絵詞	中央図書館	新説!?日本のミステリー (H20.9.2)	テレビ東京
解体新書	医学図書館	美の巨人たち (H20.10.18)	テレビ東京
蒙古襲来絵詞	中央図書館	双方クイズ につぼん力 (H20.11.24)	NHK
蒙古襲来絵詞	中央図書館	世界一受けたい授業 (H21.1.17)	日本テレビ
大和本草 巻之五草之一	中央図書館	世界一受けたい授業 (H21.2.7)	日本テレビ
三国通覧図説-付図	中央図書館	世界ふしぎ発見! (H21.3.21)	TBS
日本山海名物図会	中央図書館	報道番組 (H21.3.)	東海テレビ

	全学・中央図書館	医学分館	芸術工学分館	筑紫分館	
H20 (2008) 4	16 産学連携交流センター開所 理系図書館分室サービスコーナー設置				7 9 25
5	8 開学記念行事「中山森彦と仙厓展 -博士が集めたコレクション-」 第49回附属図書館貴重文物展示(～15日) 11 開学記念公開講演会「仙厓芸術のカラクリ」 19 資料保存講演会「書籍の修理と保存の技術」 20 図書系職員初任者研修(～23日)			29 第1回筑紫分館運営委員会	15 23
6	20 「世界難民の日」記念 難民写真パネル展示(～7/3) 20 貴重文物講習会「近世儒学関係諸文庫について」 30 学術情報セミナー「学術コンテンツのトレンドと高まるマネジメントニーズ」 30 ハーバード大学燕京図書館Librarian来訪				
7	6 九州地区国立大学法人等職員採用事務系(図書業務)二次専門試験 14 第1回学生用図書選定委員会中央図書館分科会 25 貴重文物講習会「クンケル文庫について」 26 九州地区国立大学附属図書館ソフトボール大会(優勝)	11 第1回医学分館運営委員会	28 第1回芸術工学分館運営委員会	24 第1回筑紫分館図書資料選定委員会	7 31 31
8	6 中央図書館図書資料選定委員会 20 旧制福岡高等学校展(～22日) 22 貴重文物講習会「旧制福岡高等学校関係資料について」 25 AED説明会			30 第2回筑紫分館図書資料選定委員会書面回議	
9	10 図書館等職員著作権実務講習会(～12日) 21 オーストラリア国立図書館・オーストラリア国立大学等往訪:次世代OPAC調査、AIRwayプロジェクト説明(～27日) 25 学術講演会「米国情報公開法(FOIA):現状と課題」(於:福岡アメリカンセンター)		17 中学生の職場体験学習(3名)(～19日)		
10	1 新館長就任 24 貴重文物講習会「九州大学とアート -過去から未来へ-」			29 第3回筑紫分館図書資料選定委員会	1
11	6 CSI委託事業「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」第1回講習会(～7日) 12 第2回学生用図書選定委員会中央図書館分科会 13 韓国果川市情報科学図書館から訪問研究員受け入れ(～21年10月30日) 21 ソウル大学校中央図書館一行来訪(4名) 21 貴重文物講習会「田村専一郎と支子文庫」				15 22
12	8 CSI委託事業「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」特別講習会(～9日) 17 「資料保存セミナー:学術資料を後世に残すために」(～18日) 18 消防訓練		19 貴重文物講習会「ロイドモーガン・コレクションについて」		25
H21 (2009) 1	8 ソウル大学校図書館へ図書館職員1名を派遣(～3/6) 13 CSI委託事業「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」第2回講習会(～14日) 27 研究開発室セミナー「公共図書館における利用者のふるまいに応じた空間設計」	19 第1回医学分館分館長候補者選定委員会	22 貴重文物講習会「芸術工学分館所蔵の20世紀の椅子について」		
2	13 貴重文物講習会「中央図書館所蔵 近藤文庫について」 16 ロチェスター大学・トロント大学・クイーンズ大学往訪:海外におけるERMシステム導入館に対する調査(～22日) 22 ソウル大学校図書館等往訪:RFID応用システム及びデータ解析に係る調査(～25日)	12 第2回医学分館分館長候補者選定委員会 19 第2回医学分館運営委員会			18 18 19
3	17 海外研修報告会 17 避難訓練	13 貴重文物講習会「1955年郭沫若の九大訪問とその軌跡」	5 第2回芸術工学分館運営委員会 11 芸術工学分館分館長候補者選挙会及び選考		

六本松分館	理系図書館	文系合同図書室	記録資料館	全学会議	関係団体会議等への出席
比文オリエンテーション 新入生対象図書館ツアー(～15日) 貴重文物講習会 「検印文庫について(1)」	8 工学部電気情報工学科新入生図書館ツアー				17 九州地区国立大学図書館協会総会(長崎大学) 18 九州地区大学図書館協議会総会(長崎大学)
第1回六本松分館運営委員会(書面回議) 貴重文物講習会 「検印文庫について(2)・玉泉館史料について」	28 理系図書館運営委員会(書面回議)	27 第1回経済学部研究室委員会		26 第5回六本松地区移転検討専門部会	1 学術情報流通改革シンポジウム(東京大学) 15 外国雑誌センター館会議(一橋大学) 16 国立大学図書館協会理事会(東京大学) 29 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会(福岡教育大学)
	30 自動書庫増設工事(～10/30)			16 第1回次期中期目標・中期計画図書館WG 16 館長会議 16 第198回附属図書館商議委員会	25 国立大学図書館協会マネジメントセミナー(仙台国際センター) 26 国立大学図書館協会総会(仙台国際センター)
第2回六本松分館運営委員会(書面回議) 第3回六本松分館運営委員会 六本松分館図書選定委員会	22 第1回理系図書館運営委員会	2 第2回経済学部研究室委員会 7 第1回法学部図書委員会 16 第1回文系合同図書室運営委員会	17 第11回記録資料館運営委員会	3 全学図書系係長会議 24 第6回六本松地区移転検討専門部会	31 第1回国立大学図書館協会電子ジャーナル合同タスクフォース
					29 第2回国立大学図書館協会電子ジャーナル合同タスクフォース
	25-26 中学生職場体験(3名)			19 第199回附属図書館商議委員会 24 研究開発室会議	
「ありがとう六本松図書館」展示会開始(～2/18)	2 第2回理系図書館運営委員会 30 自動書庫増設工事完了	1 第3窓口を第1窓口に統合 29 第3回経済学部研究室委員会 31 第2回法学部図書委員会	14 記録資料館運営委員会(書面回議)	7 第1回人文社会科学系大型研究資料選定委員会 31 第2回次期中期目標・中期計画図書館WG	1 国立大学図書館協会総務委員会(東京大学) 16 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議(～17日)(長崎大学) 17 国立大学図書館協会秋季理事会(一橋大学) 29 第3回国立大学図書館協会電子ジャーナル合同タスクフォース
第4回六本松分館運営委員会(書面回議) ホームカミングデー(六本松図書館の開放)				18 第2回人文社会科学系大型研究資料選定委員会	5 第4回国立大学図書館協会電子ジャーナル合同タスクフォース 14 国立七大学附属図書館協議会／国立七大学附属図書館長会議・事務部長会議(北海道大学) 26 福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区研究会(西南学院大学)
第5回六本松分館運営委員会	3 理系図書館運営委員会(書面回議) 6 理系図書館増築工事開始			17 ライブラリーサイエンス専攻(仮称)検討専門部会	2 国立大学図書館協会シンポジウム(西地区)(京都大学) 4 九州地区国立大学図書館館長・部課長会議等(九州大学附属図書館) 10 国立大学図書館協会臨時理事会(東京大学)・電子ジャーナルフォローアップシンポジウム 11 第5回国立大学図書館協会電子ジャーナル合同タスクフォース
	14 理系図書館運営委員会(書面回議)	21 第2回文系合同図書室運営委員会 23 経済学部研究室委員会(書面回議)		27 学術情報リポトリ専門委員会	27 第6回国立大学図書館協会電子ジャーナル合同タスクフォース
閉館式 閉館 移転開始	10 理系図書館運営委員会(書面回議) 20 六本松分館移転資料・什器搬入(～3/18)			3 第200回附属図書館商議委員会	19 アジア情報関係機関懇談会(国会図書館関西館) 27 第7回国立大学図書館協会電子ジャーナル合同タスクフォース
	6 伊都図書館長候補者選考準備委員会	9 第3回文系合同図書室運営委員会	5 第12回記録資料館運営委員会	16 次期中期目標・中期計画 図書館WG・情報政策WGとの合同会議	30 第9回国立大学図書館協会電子ジャーナル合同タスクフォース

平成21(2009)年5月発行

編集発行 九州大学附属図書館  
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
TEL(092)642-4264 (図書館企画課企画係)

印刷 城島印刷株式会社

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp>



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY